SPACE DiVA

CS 音楽放送専用チューナー

CDT-3AFD

取扱説明書

本製品は精密放送機器です。

安全に正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになりご使用ください。

お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

はじめに

本機は、SPACE DiVA 音楽放送専用チューナーです。

SPACE DiVA 受信用アンテナを通信衛星 JCSAT-2A に向けて設置し、同梱のスマートカードを本機背面に挿入し、契約をいただきますとお手持ちのアンプ、スピーカーに接続するだけで SPACE DiVA の音楽放送をお楽しみいただけます。（無料チャンネルは契約しなくてもお聴きいただけます）

CS テレビ放送や BS テレビ放送の受信はできませんのでご注意ください。

本サービスは日本国内向けです。国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用に際して

・聴取契約を行わないと無料チャンネル以外は聴取できません

ミュージックバード音楽放送（SPACE DiVA）は有料放送です。ご利用に際し株式会社ミュージックバードと有料放送契約が必要となります。(本機に同梱のミュージックバード加入契約書をご記入の上、郵送をお願いします。)

・チューナーの受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。

チューナーの受信周波数（950MHz ～ 2150MHz）に相当する周波数を用いた機器（携帯電話等)を、チューナーやアンテナケーブルの途中に近づけると、音声に不具合（瞬断、受信不良等）が生じる場合がありますので、これらの機器とは離してご利用ください。
アンテナの配線の際にアンテナケーブルや分配器、スキマケーブル、接続端子などの機器を使用する場合、シールド性の良い CS-BS 対応の機器をご用意ください。

・操作できなくなった場合

受信異常、機器の故障等によりチューナーの操作が出来なくなった場合は、チューナー前面にある「リセット」スイッチを先の尖ったもので押してください。なお、このチューナーの内部にはCPUを搭載していますので、コンセントを抜くと、設定された内容が消去される場合があります。

・付属のスマートカードについて

チューナーに付属しているスマートカードは、チューナーごとに登録しております。同じ型番のチューナーでも他のチューナーではご利用いただけません。また、スマートカード以外の物を挿入すると、本体が故障したり、破損する事がありますので、違うカードのご使用はご遠慮ください。

・チューナーの電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

チューナーの電源プラグは直接、壁のコンセントに接続して下さい。アンプのコンセントをご利用いただく場合、非連動のコンセントに接続してください。
ミュージックバード SPACE DiVA 放送は、電源がオフ（スタンバイ）の場合でも、情報の更新を行っていますので、長期間の留守、本体に異常がある場合を除いて、チューナーのコンセントは抜いたままにしないでください。コンセントを抜いたままですと、番組の情報更新が出来ず、スクランブルが掛かり、聴取できなくなります。なお、スタンバイ中にチューナーの情報を自動で更新する事があります。この場合ディスプレーに更新情報などが表示されることがありますが、故障ではありません。

ご注意

● **本機は個人（家庭）向け専用チューナーです**
本サービスを利用して個人で楽しむ目的で利用する事はできますが、本サービスを店舗でBGM等、業務用に利用する事、又、事業所・学校・病院など不特定多数の方が聴取できる環境で利用する事はできません。

もくじ

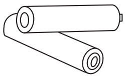
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
ご使用に際して・・・・・・・・・・・・・ 2
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
付属品の確認・・・・・・・・・・・・・・ 4
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・ 5
ミュージックバード音楽放送（SPACE DiVA）について・・・ 9
受信契約をする・・・・・・・・・・・・・10
各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・11
　リモコン・・・・・・・・・・・・・・・11
　本機・・・・・・・・・・・・・・・・・13
リモコンの準備・・・・・・・・・・・・・17
　乾電池の入れかた・・・・・・・・・・・17
　リモコンの使用範囲・・・・・・・・・・17
　リモコンの故障防止のために・・・・・・17
機器との接続をする・・・・・・・・・・・18
　お手持ちのオーディオ機器を接続する・・・18
　スマートカードを挿入する・・・・・・・19
アンテナのセッティングをする・・・・・21
　設置の前に・・・・・・・・・・・・・・21
　アンテナを設置する・・・・・・・・・・21
　チューナーとアンテナを接続する・・・・23
初期設定・・・・・・・・・・・・・・・・25
　アンテナの微調整をする・・・・・・・・27
　信号受信レベルの確認・・・・・・・・・30
基本的な使いかた・・・・・・・・・・・・31
　ＣＳ放送を聴く・・・・・・・・・・・・32
　ＦＭ放送を聴く・・・・・・・・・・・・33
　ＡＭ放送を聴く・・・・・・・・・・・・33
使いかたに合わせた設定をする・・・・・35
　オーディオモードの切り替え・・・・・・35
　外部入力への切り替え・・・・・・・・・35
その他の機能・・・・・・・・・・・・・・36
　音声常時オフ・・・・・・・・・・・・・36
　キーロック・・・・・・・・・・・・・・37
　時計表示機能・・・・・・・・・・・・・38
メニューモードでの各種設定・・・・・・39
　バックアップ設定・・・・・・・・・・・39
　スタートチャンネル設定・・・・・・・・41
　最大音量設定（衛星受信、外部入力 ）・・42
　明るさ設定・・・・・・・・・・・・・・42
　リモコン設定・・・・・・・・・・・・・43
　アンテナ設定・・・・・・・・・・・・・44
　番組情報の更新・・・・・・・・・・・・46
　ソフトウェアのバージョンアップ・・・・46
　工場出荷設定・初期設定・・・・・・・・47
　チューナーに関する情報を見る・・・・・49
　スリープタイマー機能・・・・・・・・・50
　タイマープレイ機能・・・・・・・・・・52
　タイマーチェック機能・・・・・・・・・55
　FM・AMラジオ機能・・・・・・・・・・56
メニューモード一覧・・・・・・・・・・・57
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・58
お手入れについて・・・・・・・・・・・・58
故障かな！？・・・・・・・・・・・・・・59
エラーメッセージ一覧・・・・・・・・・・60
こんな表示の時は？・・・・・・・・・・・61
保証とアフターサービス

付属品の確認

接続・設置の前に、下記の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

オーデイオ接続用ピンコード(1本)

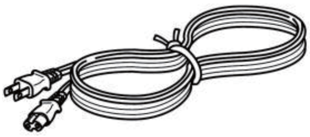
リモコン用単４型電池（２本）



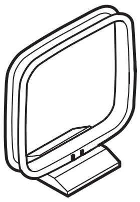
リモコン（１個）

スマートカード（１枚）

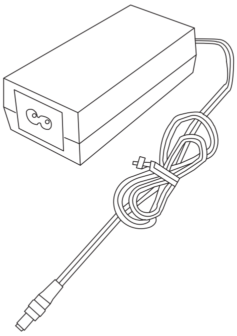
ACアダプタ コンセント側ケーブル（1本）



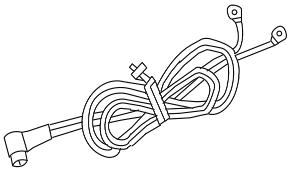
AMアンテナ（1個）



AC アダプタ（１個）



FM アンテナケーブル（１本）



取扱説明書（１部）：本書

○上記の他に以下のものが同梱されています。

・受信機ID番号ラベル（SNで始まる番号）、スマートカードIDラベル（SCで始まる番号）各２枚、ケーブル固定用バンド（１本）

○同梱されているACアダプタ、ACアダプタ コンセント側ケーブルは、本機以外の製品にはご使用になれません。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

※表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警 告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注 意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

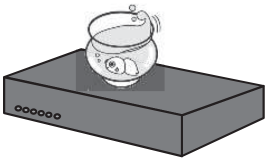
※お守りいただきたい内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

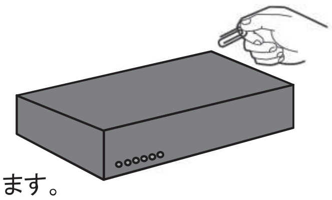
ご使用について

機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物を置かない



●機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れない



●感電の原因になります。
●特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり、濡らしたりしない

●ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
●水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。

分解したり、修理・改造をしない

分解禁止

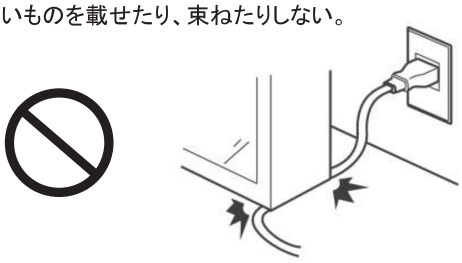
●内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
●内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

⚠ 警 告

電源コードについて

電源コード・電源プラグを破損するような ことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない。



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

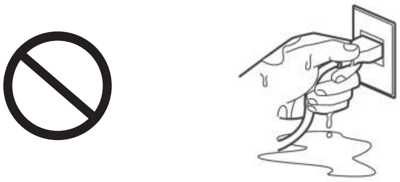
電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない



- 感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器に触れない

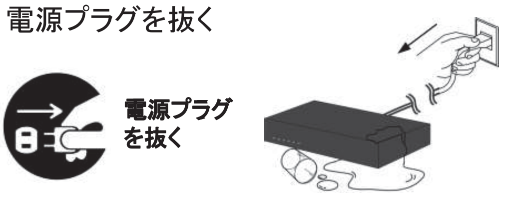
- 感電のおそれがあります。

安全上のご注意（つづき）　必ずお守りください

警告

異常が起こったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く



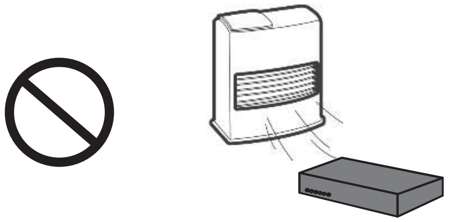
●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く

●そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
●販売店にご相談ください。

設置・接続について

異常に温度が高くなるところに置かない

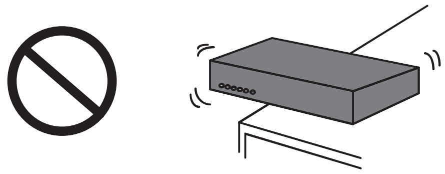


●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
●直射日光が当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

注意

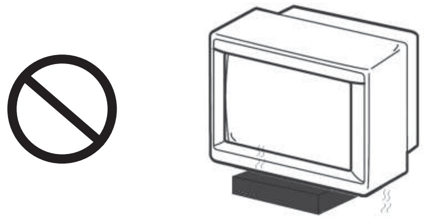
設置・接続について

不安定な場所に置かない



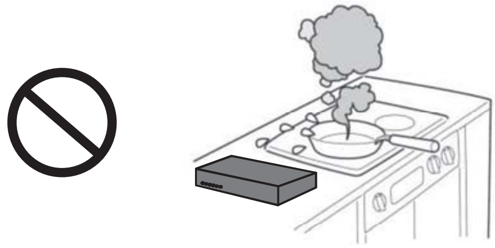
●機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

機器の上に大きいものや重いものを載せない



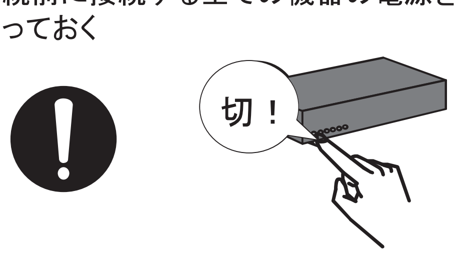
●倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湿気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



●電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

接続前に接続する全ての機器の電源を切っておく

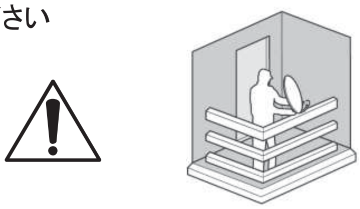


●電源が入った状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因になることがあります。

⚠ 注 意

アンテナについて

アンテナの設置・工事は販売店にご相談ください



●アンテナの工事には、技術と経験が必要です。
●強風でアンテナが倒れた場合に感電やけがの原因になることがあります。
●CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

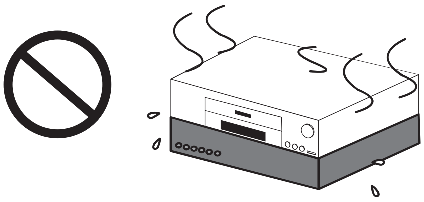
●接続した状態で移動すると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
●また、引っかかるなどして、けがの原因になることがあります。

ご使用について

機器に乗らない

●倒れたりしてけがの原因になることがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

機器の上面に他の機器や物などを乗せ、通気孔をふさがない



●機器の通気孔をふさぐと内部の温度が上昇し、故障の原因となります

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く

●入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

アルコール・シンナー等を使用しない

●お手入れの際にはアルコールやシンナー等は使用しないでください。変形・変色の原因になります。

乾電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

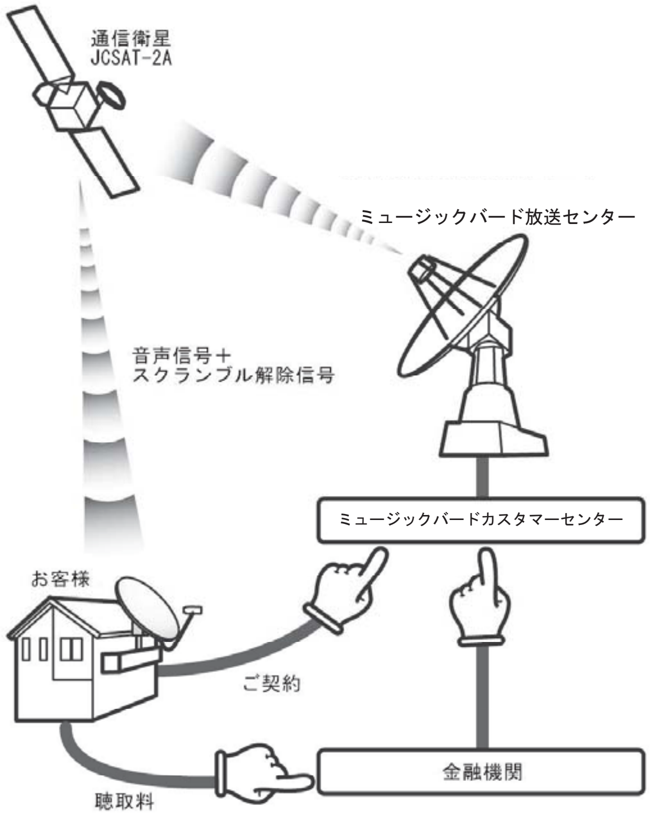
●＋と－は正しく入れる
●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
●充電しない
●加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
●長期間使用しないときは、取りだしておく
●ネックレスなどの金属物といっしょにしない
●乾電池の代用として充電式電池を使用しない

●取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
●万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
●液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ミュージックバード音楽放送（SPACE DiVA)について

ミュージックバード音楽放送（SPACE DiVA)は、通信衛星（Communication Satellite）JCSAT-2Aを利用して、多種多様な番組をお届けする有料放送です。

番組はこのように供給されています。



衛星の種類	JCSAT-2A
受信申込窓口	ミュージックバードカスタマーセンター
偏波	垂直偏波
スクランブル	マルチ2方式

電波障害について

〇衛星の電波は直進する性質が有ります。障害物があると受信できません。

〇雨雲があったり強い降雨や降雪があると電波が弱くなり、受信できなくなることがあります。

〇水分を多く含んだ雪がアンテナに直接積もった場合、受信できなくなることがあります。

受信契約をする

ミュージックバード音楽放送（SPACE DiVA)は有料放送です。

電波には盗聴防止のためスクランブル（暗号）がかかっています。

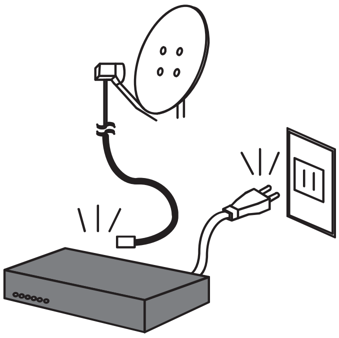
ご注意

●ご契約に関してはミュージックバードカスタマーセンターにて承っております。

ミュージックバードカスタマーセンター
ＴＥＬ：０３－３２２１－９０００
受付時間　＜　平　　日　＞10:00～19:00（12:00～13:00を除く）
　　　　　＜土・日・祝日＞10:00～18:00（12:00～13:00を除く）

注 意

長期間受信しないと
「A006」または「A009」
と表示され、音声が出なくなる場合があります。



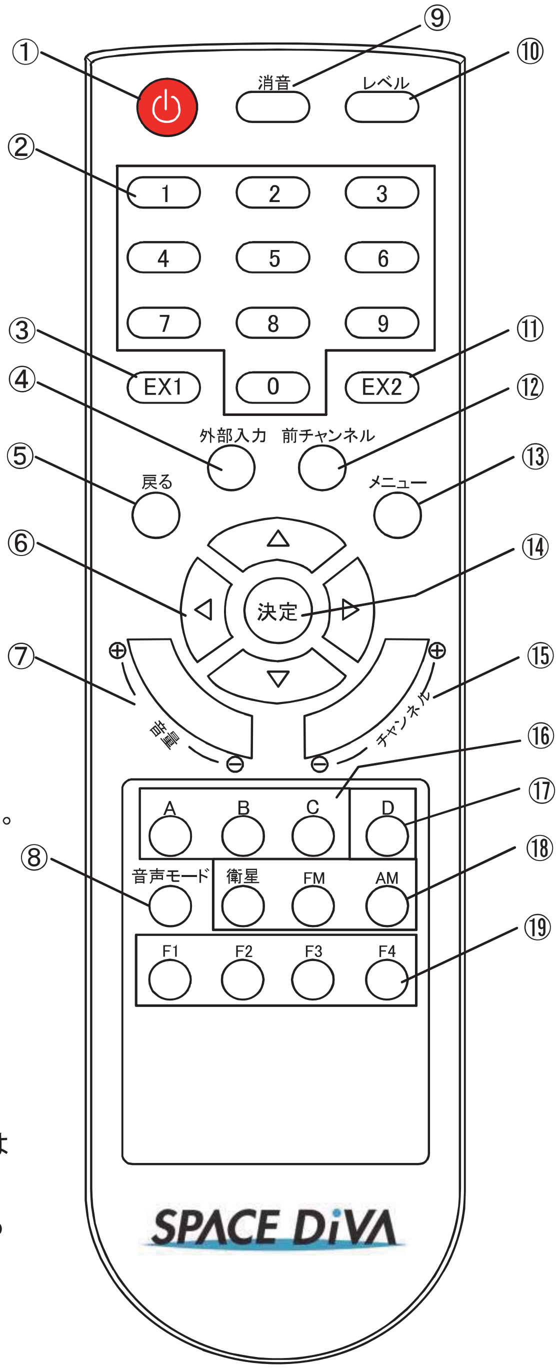
アンテナ同軸ケーブルがはずれていたり、ACアダプターを長期間はずし、受信されない状態が続いた場合、スクランブルが掛かり、番組の聴取ができなくなる事があります。その場合、ミュージックバードカスタマーセンターにご連絡ください。

なお、上記理由からも、長期間ご使用にならない場合を除き、コンセントから電源ケーブルを抜かないことをお奨め致します。

各部のなまえとはたらき

**この取扱説明書では、リモコンの操作を中心に説明しています。
同種のボタンが本体にもある場合は、本体での操作も可能です。**

リモコン



①電源ボタン（31、34 ページ）

本機の電源をオン／オフします。

（オフ＝スタンバイモード）

②数字 0～9 ボタン

チャンネル番号や数値を直接入力します。

③Ex1 ボタン

⑯の A,B,C 各ボタンと組み合わせて使用します。

④外部入力ボタン（35 ページ）

外部入力(LINE IN)へ切り替えます。

⑤戻るボタン

メニューモードを終了、または前のモードへ戻ります。

⑥▲▼◀▶（上下左右）ボタン

項目の移動や設定値の選択をします。

⑦音量「+」「ー」ボタン（34 ページ）

音量を調整します。(オーディオケーブルで接続の際は
音量調整が可能です。)

＊光デジタル端子とオーディオ機器を接続されている
場合には音量の調節はできません。

⑧音声モードボタン（35 ページ）

ステレオ／モノラル音声を切り替えます。
＊光デジタル端子とオーディオ機器を接続されている
場合は音量の調整はできません。

⑨消音ボタン（34 ページ）

音声を消音（ミュート）します。消音時はチャンネル表示と「MUTE」表示が交互に出ます。
＊光デジタル端子とオーディオ機器を接続されている場合には消音機能は動作しません。

⑩レベルボタン（30 ページ）

受信レベルを表示します。

⑪Ex2 ボタン

使用しません。

⑫前チャンネルボタン（32 ページ）

いま使用しているチャンネルの前に使用していたチャンネルに戻ります。

⑬メニューボタン

メニューモードを表示させたり、消したりします。

⑭決定ボタン

選択項目の決定を行います。チャンネル表示と時計表示の切り替えができます。

⑮チャンネル 「+」「ー」ボタン（32ページ）

ボタンを押すたびに、1チャンネルずつチャンネルが上下します。長押しすることでチャンネルを10ずつ進める（戻す）ことができます。

⑯ A,B,C ボタン

③のEX1ボタンを押し、続けて A、B、C のいずれかのボタンを押すと以下の機能が使用できます。

Ex1 ボタンを押したあと

A ボタンを押す	→	すべてのチャンネルの音声を常時「オフ（消音）」にします。 緑色のインジケーターランプが点滅します。 もう一度同じ操作をすると解除されます。
B ボタンを押す	→	選択しているチャンネルの音声を常時「オフ（消音）」にします。 緑色のインジケーターランプが点滅します。 もう一度同じ操作をすると解除されます。
C ボタンを押す	→	リモコンおよび本体のすべてのボタン操作を無効にします（キーロック） 本体に「KEYLO」が３秒間表示され、その後チャンネル表示に戻ります。 もう一度同じ操作をすると解除されます（チャンネル表示が３回点滅します）。

⑰ D ボタン（50ページ）

スリープタイマー機能に使用します。

⑱「衛星」「FM」「AM」ボタン

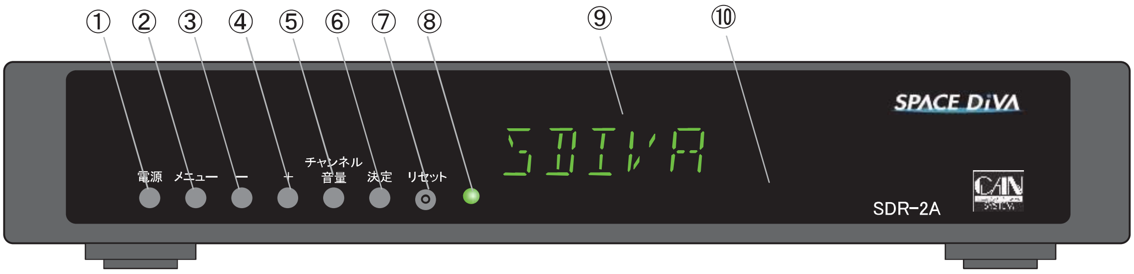
衛星/FMラジオ/AMラジオを切り替えます。（56ページ）

⑲ F1,F2,F3,F4 ボタン

使用しません。

チューナー

フロントパネル



①電源ボタン（31、34 ページ）

チューナーの電源の「オン/オフ（スタンバイモード）」をします。

②メニューボタン

メニューモードを表示させたり、消したりします。

③「ー（マイナス）」ボタン

チャンネルが表示されている場合：
「ー」ボタンを押すごとに聴いているチャンネルを1チャンネルずつ戻すことができます。
長押しすると聴いているチャンネルから10チャンネルずつ戻すことができます。

メニューモードが表示されている場合：
項目、設定値がひとつ前に戻ります。

音量が表示されている場合：
「ー」ボタンを押すごとに音量が下がります。

④「＋（プラス）」ボタン

チャンネルが表示されている場合：
「＋」ボタンを押すごとに聴いているチャンネルを1チャンネルずつ進めることができます。長押しすると聴いているチャンネルから10チャンネルずつ進めることができます。

メニューモードが表示されている場合：
項目、設定値がひとつ先に進みます。

音量が表示されている場合：
「＋」ボタンを押すごとに音量が上がります。

⑤チャンネル／音量ボタン

チャンネル表示と音量表示を切り替えます。

⑥決定ボタン

選択項目の決定を行います。チャンネル表示と時計表示の切り替えができます。

⑦リセットスイッチ

本機を再起動します。

⑧スタンバイランプ

本機の待機時（スタンバイ時）に赤色に点灯します。

アンテナの方向調整の際は緑色になり、点灯、点滅で衛星を判別します。

点灯：JCSAT－2A。ミュージックバード音楽放送が受信できます。

点滅または消灯：その他の衛星の電波を受信しています。
ミュージックバード音楽放送は受信できません。

⑨LED ディスプレイ

各種表示をおこないます。

⑩リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

お知らせ

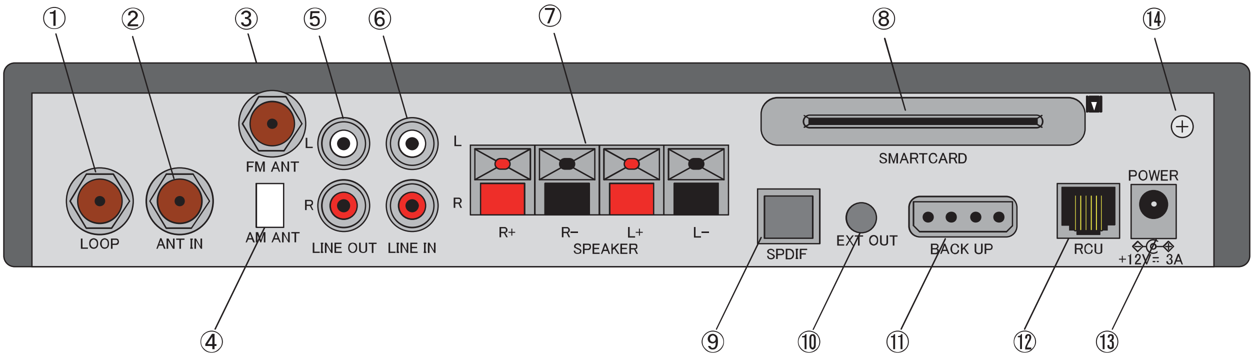
●オンエア曲の表示はミュージックバードのホームページでご覧いただけます。

101チャンネルから126チャンネルまでの各チャンネルで放送中の曲名、
アーティスト名などについては、ミュージックバードホームページ

http://www.musicbird.jp

でご覧いただけます。

リアパネル



①LOOP

アンテナ信号が出力されます。複数台のチューナーを接続する際、分配器を使用せずに接続することができます。

②ANT IN

アンテナからの同軸ケーブルを接続します。

③FM ANT

付属のFMアンテナを接続します。

④AM ANT

付属のAMアンテナを接続します。

⑤LINE OUT

付属のオーディオ接続用ピンコードを使用してお手持ちのオーディオ機器の「LINE IN」端子、または「AUX」端子に接続します。音量ボタンでLINE OUTの音量とスピーカーは同時に可変します）

⑥LINE IN

その他のオーディオ機器を接続します。

⑦SPEAKER

お手持ちのスピーカー（ローインピーダンス8Ω）を接続します。アンプがなくても放送をお聴きいただくことができます。

⑧SMARTCARD挿入スロット

付属のスマートカードを挿入してください。挿入されていないとミュージックバード音楽放送サービスは受けられません。

⑨SPDIF
別売のSPDIF（角型光デジタルケーブル）を使用しお手持ちのオーディオ機器のSPDIF入力端子に接続してください。

⑩EXT OUT
機器修理用音声出力端子（一般には使用しません）
機器故障の際、メーカーが故障個所の判定に使用します。

⑪BACK UP（シールでふさがっています）
店舗用専用バックアップププレーヤーの電源供給端子です。（一般には使用しません）

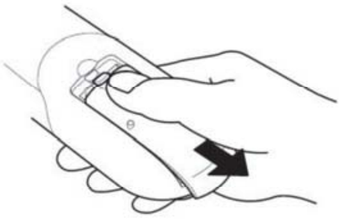
⑫RCU
別売のリモートコントローラー（ケーブルタイプ）を接続します。
(特別なサービスの使用となります)

⑬POWER
ACアダプターからのコードを接続します。

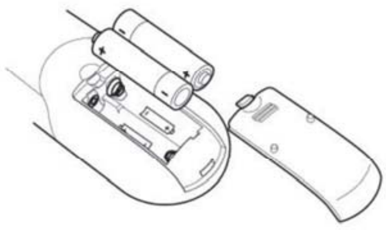
リモコンの準備

乾電池の入れかた

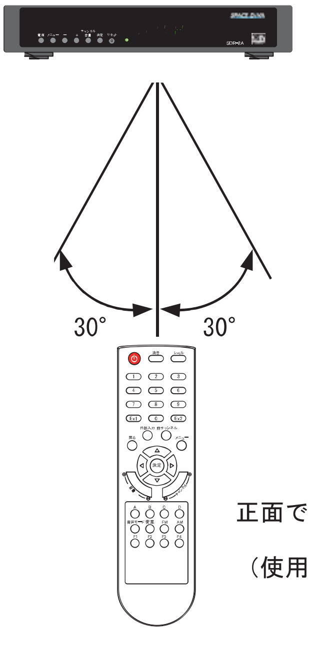
リモコンのふたを開けます。



付属の乾電池（単４型）２本をマイナス側（バネのある側）から入れ、ふたを閉めます。



リモコンの使用範囲



正面で約７m

（使用範囲は角度により異なります。）

お願い

- ●リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- ●リモコン受光部とリモコン先端にほこりなどが付着しないようご注意ください。
- ●本機をオーディオラックなどの中に設置した場合、ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。
- ●リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光をあてないでください。

リモコンの故障防止のために

- ●分解、改造をしないでください。
- ●重いものを載せないでください。
- ●直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ●ジュースなど液状のものをこぼさないでください。

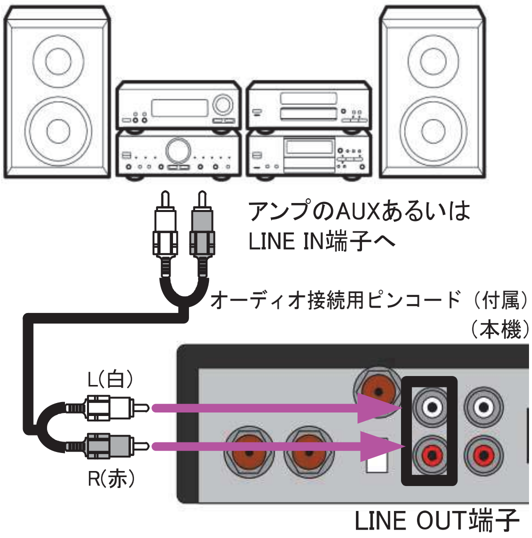
機器との接続をする

ご注意

●チューナーと他のオーディオ機器などを接続する場合、すべての機器の電源をあらかじめ切っておいてください。接続後、チューナーのＡＣアダプタを最後に接続してください。

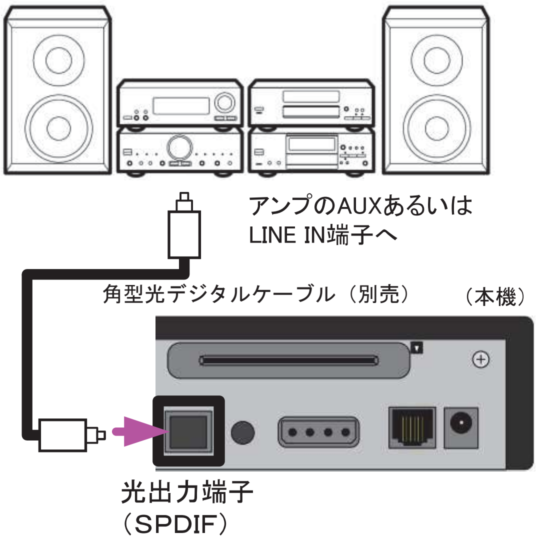
お手持ちのオーディオ機器と接続する

●ミニコンポなどに接続する場合(アナログ)

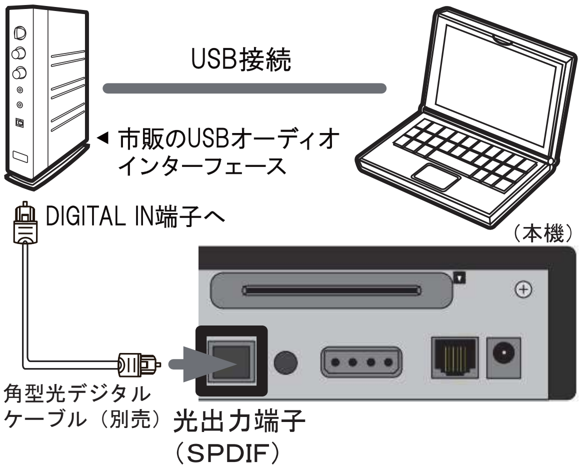


●ミニコンポなどに接続する場合（デジタル）

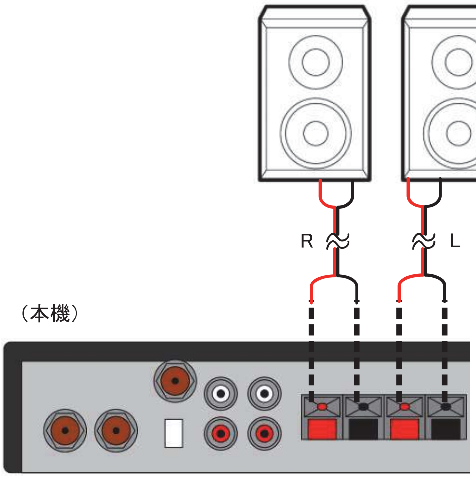
※FM/AMラジオ、外部入力は対応しません。



●パソコンとデジタル接続する（一例）*1



●スピーカーを直接接続する場合



ご注意

●ミュージックバード音楽放送には音楽著作権保護の為、録音制限（1回）が掛かっています。本機から録音した楽曲は個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

機器との接続をする（つづき）

スマートカードを挿入する

ご注意

●本機に同梱のスマートカードは、必ず電源コードを抜いた状態で抜き差ししてください。

右図のように絵柄表示面を上にして、

スマートカードの矢印を挿入口方向にあわせ

挿入が止まるまでゆっくりと押し込んでください。

お願い

●チューナーに付属しているスマートカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

●裏向きや逆方向から挿入しないでください。

挿入方向を間違えるとスマートカードは機能しません。

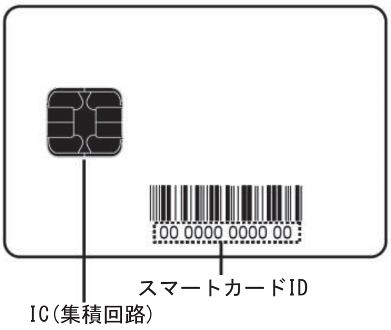
スマートカードについて

チューナーに付属しているスマートカードには、１枚ごとに

違うID（スマートカードID）が付与されています。

スマートカードIDはお客様の有料放送契約内容などを

管理するために使われている大切なIDです。



スマートカード取り扱い上の注意点

カードを折り曲げたり、変形させないでください。

カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。

カードに水をかけたり、ぬれた手で触らないでください。

カードの IC（集積回路）部には手を触れないでください。

カードの分解加工は行なわないでください。

カードは前ページ手順をご覧のうえ、本機後面のスマートカード挿入口に正しく挿入してください。
カードを挿入しないと、有料放送を聴取することができません。
ご使用中にスマートカードの抜き差しはしないでください。聴取できなくなる場合があります。

スマートカードを抜くとき

万一、スマートカードを抜く必要があるときは、必ずチューナーのアダプタを抜いたあと、ゆっくりとスマートカードを抜いてください。スマートカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、必要な場合以外は、抜き差しをしないでください。

アンテナのセッティングをする

●アンテナは別売です。アンテナの購入・設置については販売店にご相談ください。

●アンテナの設置・接続の際には必ずアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

設置の前に　～お使いになるアンテナをご確認ください～

●**アンテナはCS放送専用パラボラアンテナ（45cm以上）をお使いください。BS,CS110度用パラボラアンテナはご使用いただけません。**

●**チューナーはあらかじめコンバーターの局部発振周波数（LNBFR）を11300MHzに設定してあります。ご使用のアンテナにより局部発振周波数（LNBFR）を変更する場合、26ページ（44ページ）に従い、局部発振周波数（LNBFR）の設定変更を行ってください。**

●**チューナーはあらかじめコンバーターの動作電圧を11Vに設定してあります。お使いのアンテナが偏波麺切替タイプの場合、垂直偏波の動作電圧に変更が必要です。（垂直偏波15Vの場合、コンバータの動作電圧の変更が必要です）**

また、アンテナには偏波面電圧切替方式と偏波面固定方式があります。設置・設定の前にお使いのアンテナの種類をご確認ください。

偏波面固定方式のアンテナで LNB 電圧が DC+15V のタイプのものをご使用になる場合、LNB 偏波の設定で電圧を 15V に設定してください。変更のしかたについては 26ページ(45ページ)をご覧ください。

※　LNB＝コンバーターです

※　局部発振周波数＝LNB の周波数（局発）です

アンテナを設置する

アンテナを設置し、「仰角」、「方位角」、「偏波面の傾き角」を調整します。

それぞれの角度はお住まいの地域によって異なります。次ページの表を参考にして最も近い地域の数値にあわせてください。

ご注意　アンテナの設置場所について

●マンションなど共同住宅の場合は、出入り口や避難設備には設置できません。また、避難経路・消防上必要な通路の邪魔にならないところに設置する必要があります。消防法・地方自治体の条例などに触れないようにご注意ください。

●アンテナ取付用のポールが垂直に立つように設置してください。角度がずれていると正しく受信できません。

●衛星の方向（南南東）が見通せる場所にしっかりと固定してください。建築物や樹木・電線等の障害物があると正しく受信できません。

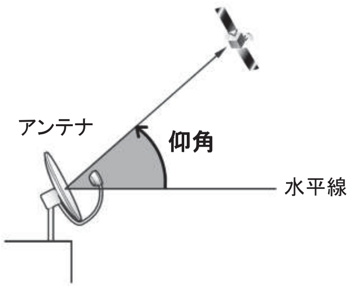
お知らせ

●ミュージックバード音楽放送（SPACE DiVA)は通信衛星JCSAT-2Aを使って放送されています。（2014年12月現在）

アンテナのセッティングをする（つづき）

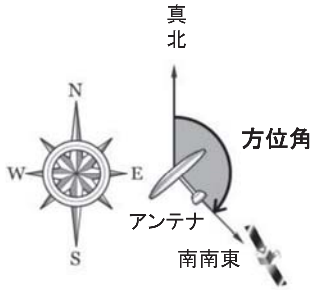
●仰角

電波のくる方向を水平面から見上げたときの角度です。
（アンテナ面の傾きとは必ずしも一致しません。）

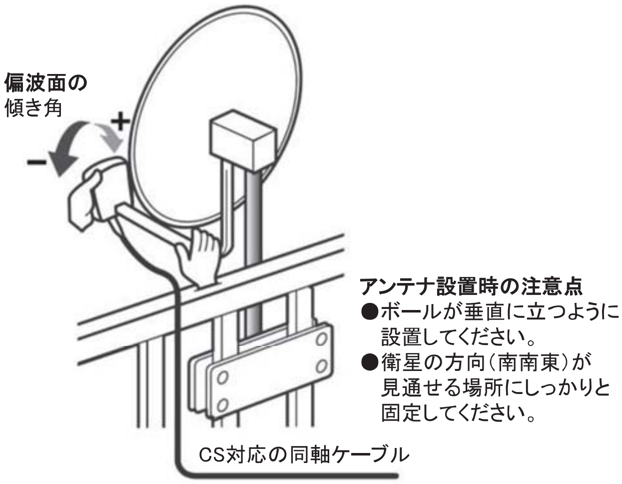


●方位角

電波のくる方向を真北を基準に時計回りに計った角度です。



●偏波面の傾き角



お知らせ

●方位磁石を使う場合、磁北は真北より少し西側にずれています。（5～9度で北へ行くほど大きい）また、ベランダの性質上、方位磁石の指針が南北を示さない場合があります。
●偏波面固定方式のアンテナをご使用の場合、偏波面の傾き（コンバーター部の回転で調整宇）がV（垂直）の位置になっていることを確認してください。

方向が決まったら、角度がずれないように注意しながら各部を仮締めしてください。
後で微調整をしますので、あまりきつく締め付けないでください。

全国各地における JCSAT-2A の仰角・方位角・偏波面の傾き角（単位：度）

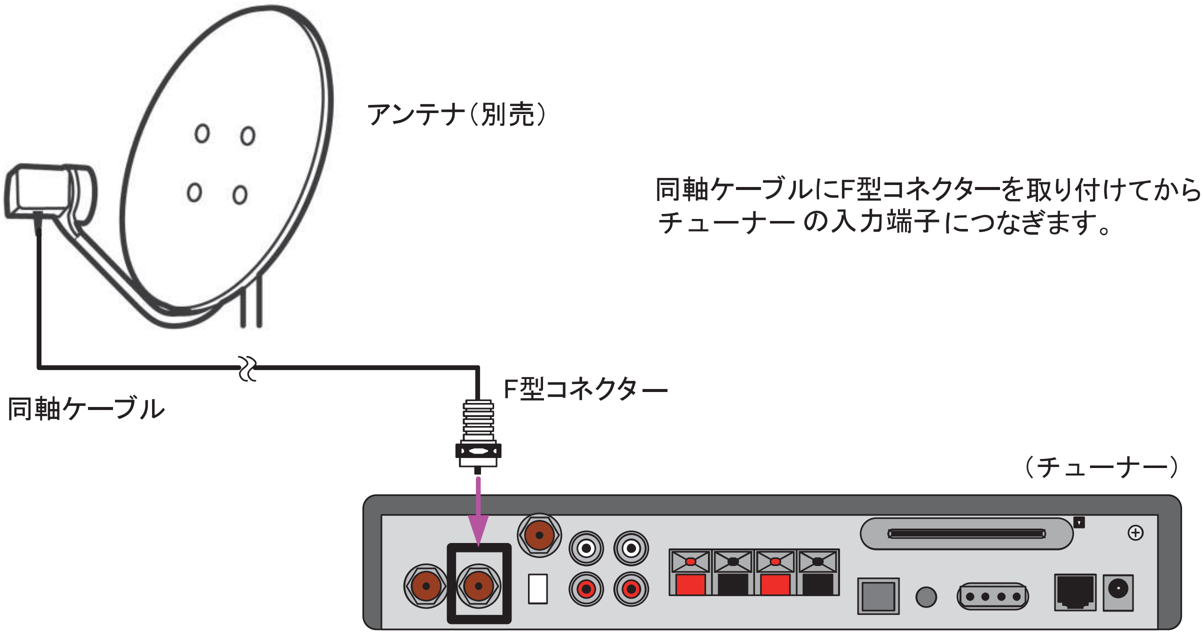
都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角	都市名	仰角	方位角	偏波面の傾き角
稚　内	36	163	18	大　宮	46	156	11	津	46	151	7	徳　島	45	148	1
旭　川	38	163	18	東　京	46	157	11	大　津	45	150	6	高　知	45	145	2
札　幌	39	162	17	千　葉	46	157	12	京　都	45	150	6	松　山	45	146	2
函　館	40	160	16	横　浜	46	156	11	和歌山	45	149	5	福　岡	43	142	1
青　森	41	160	15	新　潟	44	157	12	奈　良	45	150	6	大　分	45	143	0
盛　岡	42	160	15	甲　府	45	155	10	大　阪	45	150	5	佐　賀	44	141	-2
秋　田	42	159	14	富　山	44	153	9	神　戸	45	149	5	長　崎	44	140	-1
山　形	43	159	13	金　沢	44	152	8	鳥　取	44	148	5	熊　本	44	142	-1
仙　台	44	159	14	福　井	44	151	7	岡　山	44	147	4	宮　崎	46	142	-2
福　島	44	159	13	岐　阜	45	152	7	広　島	44	145	2	鹿児島	45	140	-3
宇都宮	45	157	12	長　野	45	154	10	山　口	44	144	1	名　瀬	47	136	-8
水　戸	46	158	12	静　岡	46	154	9	松　江	43	147	3	那　覇	48	132	-12
前　橋	45	156	11	名古屋	45	152	7	高　松	45	147	3	石　垣	46	126	-18

アンテナのセッティングをする（つづき）

チューナーとアンテナを接続する

アンテナ接続の際には必ず、チューナーの電源コードを抜いた状態にしておいてください。

同軸ケーブルにF型コネクターを取り付けてから、
チューナー の入力端子につなぎます。

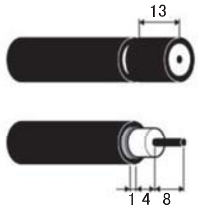


別売のミュージックバード専用アンテナDMB-4503はF型コネクター付同軸ケーブル（15m）が付属されています。

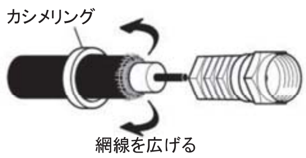
■F型コネクターの取り付けかた（参考）

注） F型コネクター以外のご使用は、外部からのノイズによる誤動作の原因となりますのでおやめください。

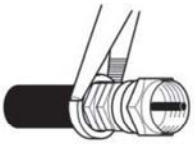
1 ケーブルを加工する
（単位：mm）



2 カシメリングをはめてから
網線を広げ、ケーブルを
F型コネクターに導入する



3 ペンチまたはラジオペンチなどで、ケーブルが抜けないようにカシメリングを縮める



■CSアンテナ１台に本機とCSチューナーを２台以上接続する場合

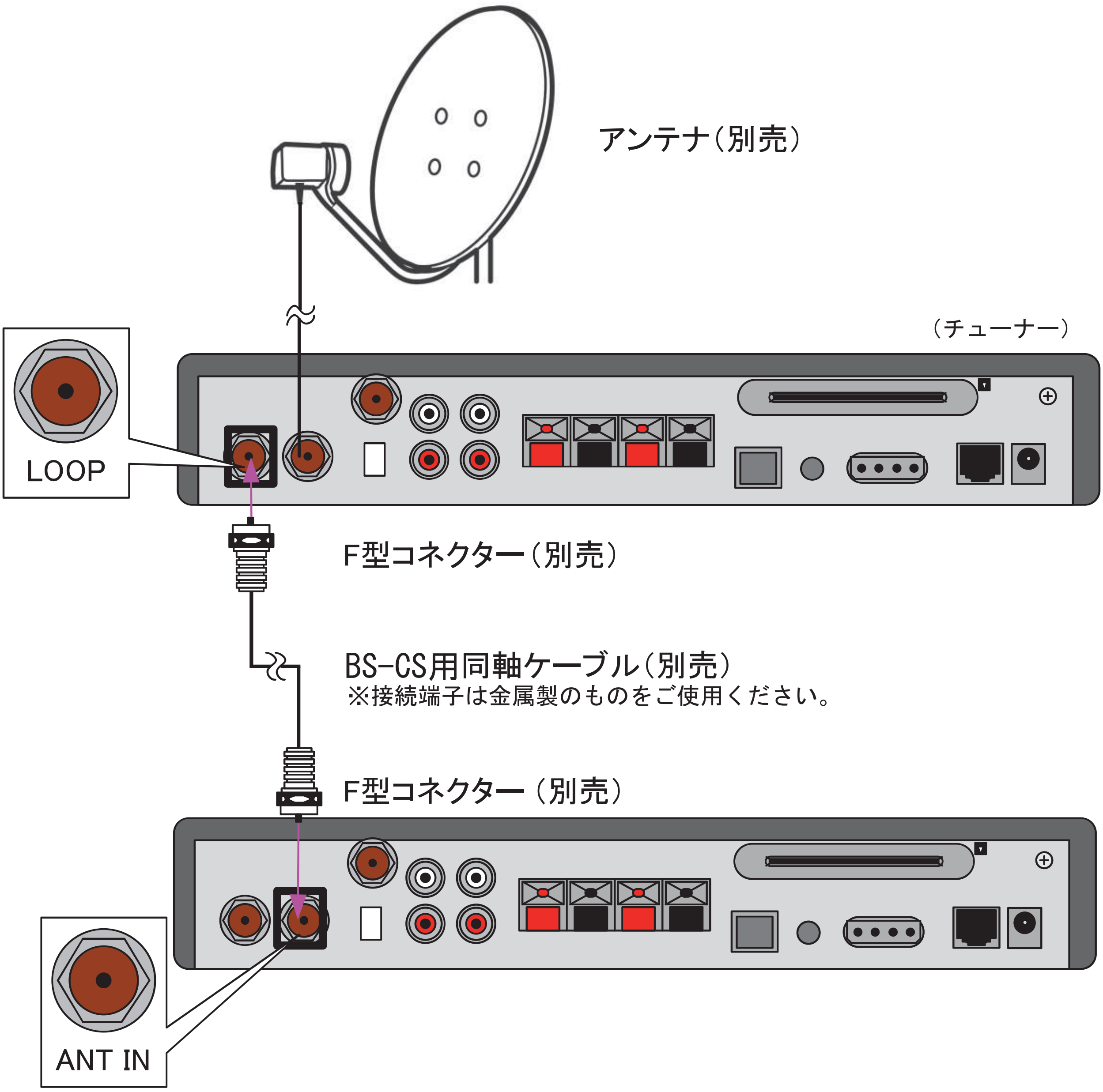
接続のしかた

下図をご参照ください。

コンバーター電源設定について

１台目はアンテナのコンバーター電源を「ON」、他のCSチューナーはすべて「OFF」に設定してください。設定変更の仕方については44ページをご覧ください。

●市販のCS分配器には「片側電流通過タイプ」のものがあります。
この場合、電流通過端子に接続するチューナーのコンバーター電源を「ON」に設定してください。



初期設定

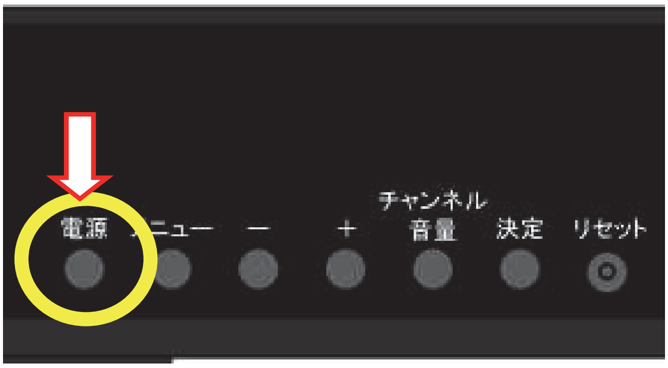
初回電源投入（または工場出荷設定後）から初期設定完了するまでは、電源を入れた後、下記流れの動作となります。

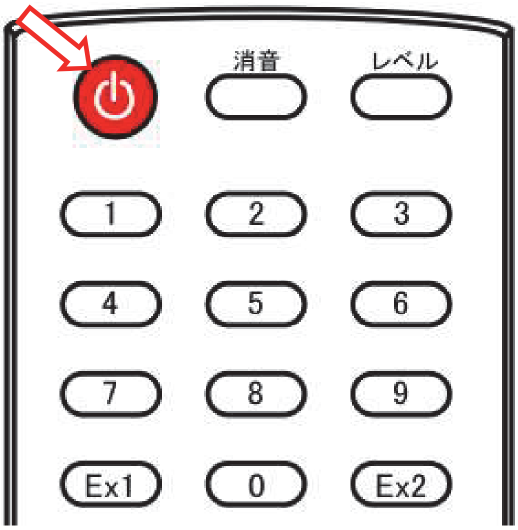
ご注意

●機器の故障の原因となりますので、アンテナ設定中は本機の電源を切らないでください。

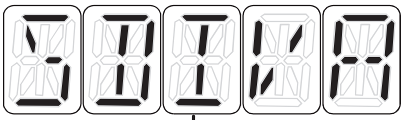
電源コードを接続し、「電源」ボタンを押して電源を入れます。

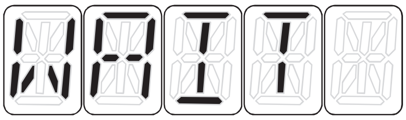
※電源コードを接続してからスタンバイランプが赤色に点灯する（スタンバイモードとなる）まで約 10 秒かかる場合があります。



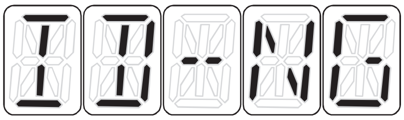


1. ディスプレイに下記の順で表示されます。



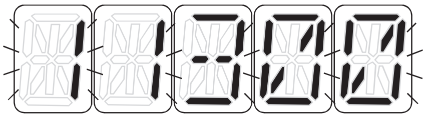


シリアルナンバーとカード ID の照合をおこないます。



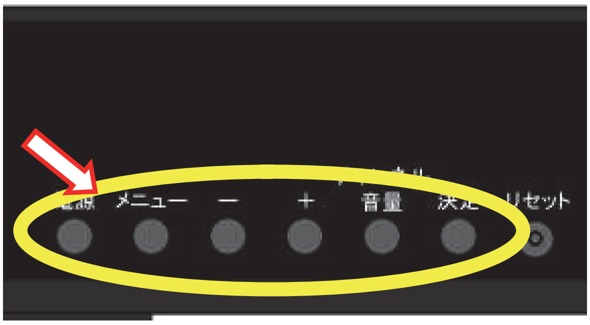
※初回設定時は NG となっても問題ありません。

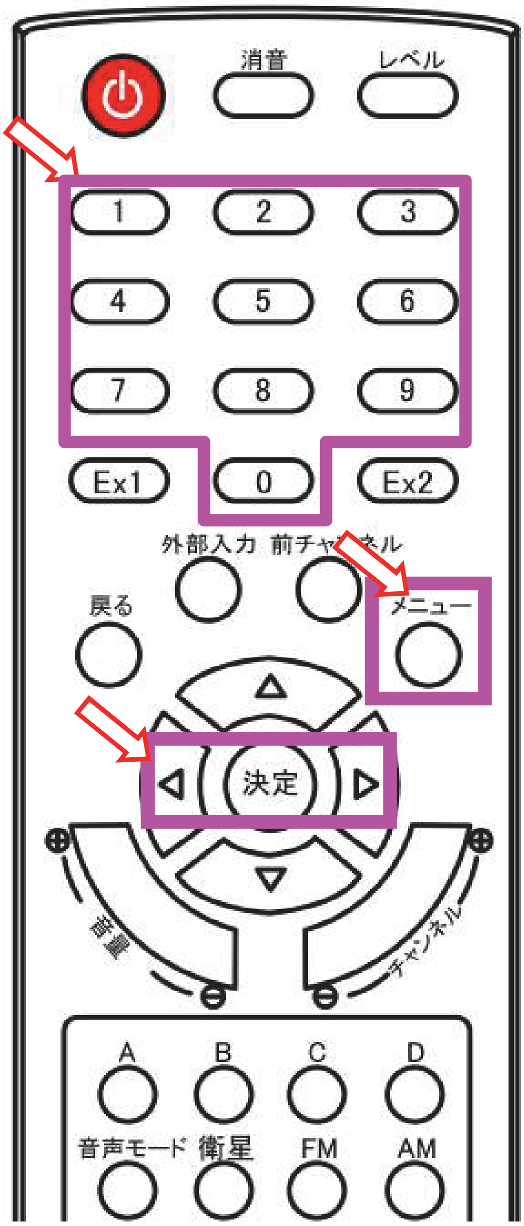
*アンテナ局部発振周波数



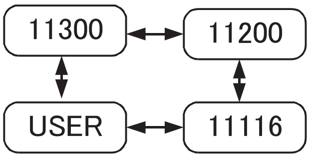
現在選択している設定が点滅表示します。

※アンテナ局部発振周波数の初期設定は11300MHzです。





2.本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの**「◂」「▸」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。



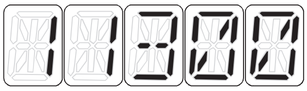
11300：11300MHz に設定します。

11200：11200MHz に設定します。

11116：11116MHz に設定します。

USER ：お客様が使用しているアンテナ固有の局部発振周波数

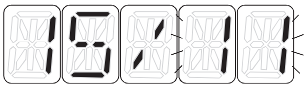
3. “11300”、“11200”、“11116”を選択時に**「決定」**ボタンを押すと、設定の点滅が停止します。



“USER”選択時に**「決定」**ボタンを押すとアンテナの局部発信周波数をリモコンの**「数字0～9」**ボタンで入力することができます。（入力中は点滅表示）

入力後**「決定」**ボタンを押します。

4.**「決定」**ボタンを押すと、アンテナコンバーター動作電圧（下記）に切り替わります。

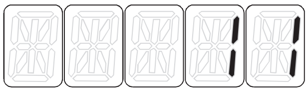


現在選択している設定が点滅表示します。

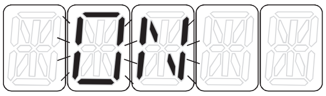
15=15V（水平）

11=11V（垂直）

5.本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの**「◂」「▸」**でいずれかの項目を選択して「決定」ボタンを押します。選択された設定のみ表示されて点滅が停止します。それ以外の設定表示は消えます。



6.**「決定」**ボタンを押すとコンバーター動作電源の切り替え画面（下記）に切り替わります。

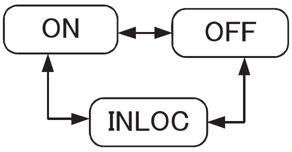


現在選択している設定が点滅表示します。

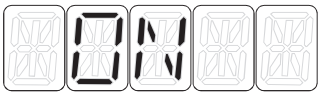
ON：コンバーターに常時電源を供給します
OFF：コンバーターに電源供給しません
INLOC：チューナーの電源をONにしたときに連動してコンバーターに電源を供給します

コンバーターの電源の初期設定は”ON”です。
ただし初期設定を行っていない場合のコンバーター電源設定は”OFF“になっています。

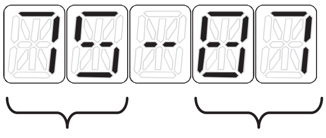
7. 本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの**「◂」「▸」**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。



8. いずれかの項目を選択して**「決定」**ボタンを押します。設定の点滅表示が停止します。



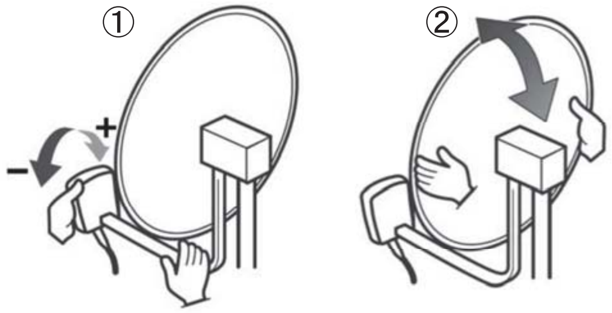
9. **「決定」**ボタンを押すと衛星受信レベル表示に切り替わります。



アンテナの微調整をする

アンテナの方向を微調整して、受信レベルを調整します。
各角度は 22 ページの表を参考にして、下記手順でおこなってください。

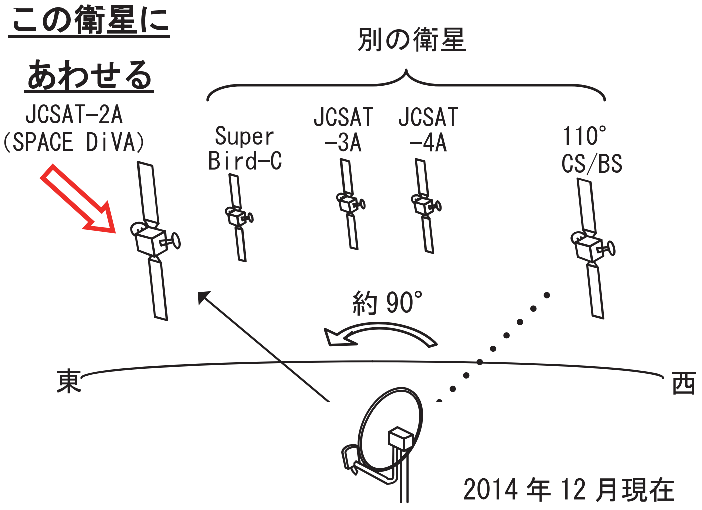
①偏波面の傾き角を表に従いあわせる。
②仰角を表に従いあわせる。



③方位角を表に従いあわせる。

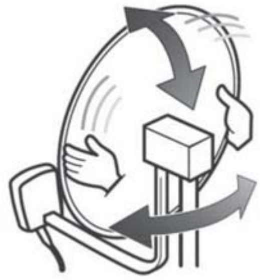
＊方向調整のコツ＊

偏波角・仰角をあわせたあと、ご近所の BS アンテナを目安に東側（アンテナの後ろから見て約 90 度左側）に一旦アンテナ面を向けてください。
そのあと、1～2度ずつ右側にずらして受信レベルが最も高くなる位置に方位角の調整を行ってください。



2014 年 12 月現在

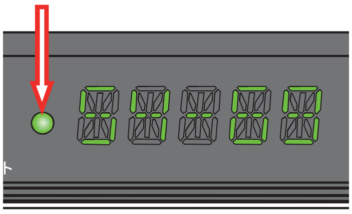
④仰角・方位角を受信レベルを見ながら調整する。



⑤信号が受信できるだいたいの方向が分かったら、その付近で時計の針のようにゆっくりと動かし受信レベルが最大となる角度を見つける。

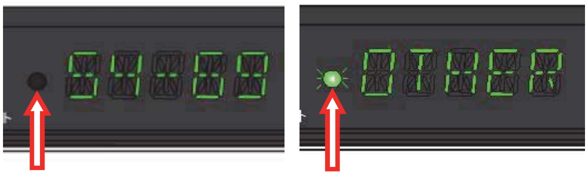
※アンテナ微調整が終わったら固定ボルトをしっかりと締め付けてください。

正しい衛星(SPACE DiVA)受信時の表示

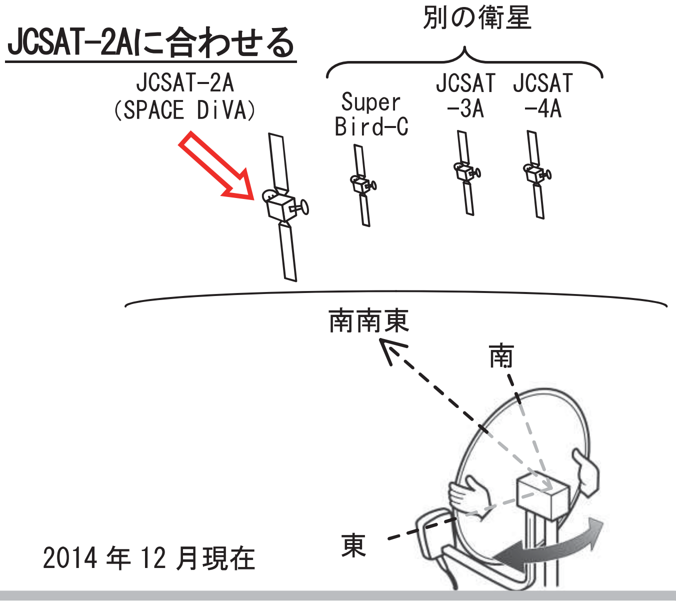


SPACE DiVA を受信すると受信レベル表示時にスタンバイランプが緑色に点灯します(点灯するまでに 10 秒程度時間がかかることがあります)。番組情報更新する場合は、スタンバイランプが点灯したことを確認してから実施してください。

他の衛星受信時の表示



スタンバイランプが点灯しない、またはスタンバイランプが緑色に点滅する場合は**他の衛星信号を受信しています。**この場合、「OTHER」と表示されることがあります(「OTHER」表示するまで 10 秒程度時間がかかることがあります)。



お知らせ

他の衛星受信時の表示例(2014年12月現在)

JCSAT-4A・・・・ } スタンバイランプ点滅または消灯
JCSAT-3A・・・・ }　または
Super Bird-C・・・　「OTHER」表示

上記表示時はアンテナをもう少し東側へ向けてください。

※他の衛星信号受信時に番組情報更新をした場合は、正しい衛星にあわせてもスタンバイランプが点灯しなくなることがあります。その場合は、フロントパネルの「**リセットスイッチ**」を押してチューナーを再起動させたのち、再度アンテナの向きを調整し直してください。

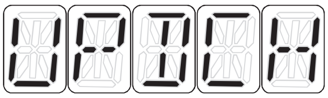
※ブースターを使用している場合、過大入力になることがありますのでご注意ください。

ご注意

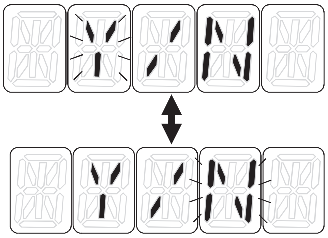
現在レベルが60以上であることとスタンバイランプが点灯していることを確認してから手順10へ移ってください。

10. **「決定」ボタンを押すと、番組情報の更新画面「UPDCH」に切り替わります**（下記画面）。

番組情報更新



11. **「決定」**ボタンを押すと番組情報を更新する「Y」か、更新しない「N」の画面が表示されます。



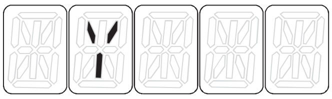
現在選択している設定が点滅表示します。

12. **「Y（更新する）」「N（更新しない）」のいずれかを選択します。**

「Y」で番組情報を更新します。

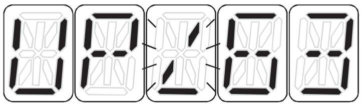
本体の「+」「−」ボタン、または「◂」「▸」ボタンで選択します。

13. **「決定」**ボタンを押すと、選択された設定のみ表示します。

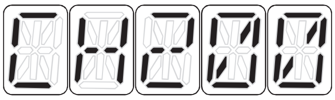


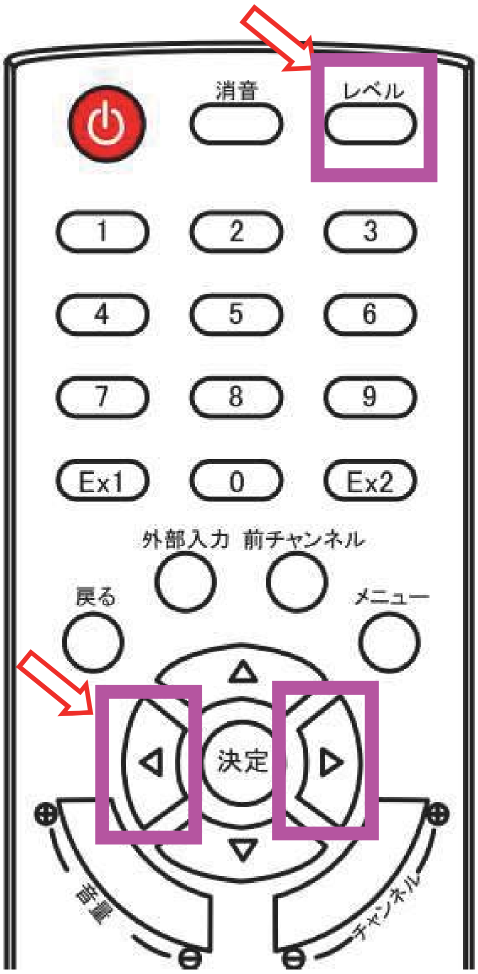
14. **「Y」**を選択時に**「決定」**ボタンを押すと、番組情報更新を開始します。更新中は進捗状況を表示します。

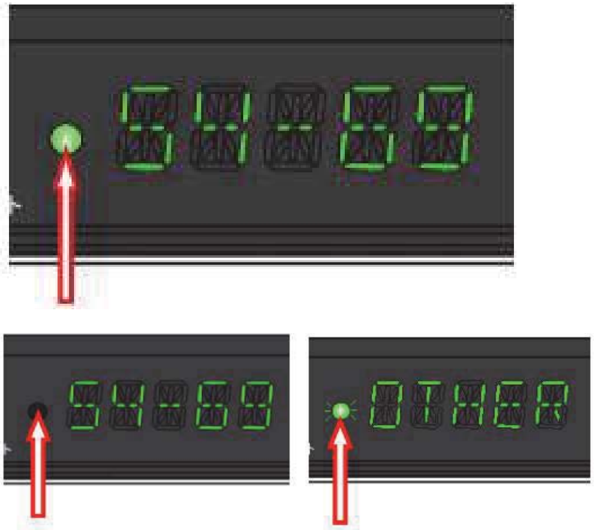
番組情報の更新が進む間、「∠」が点滅し、数字が大きくなっていきます。



番組情報の更新が完了すると自動的にCH200に切り替わり、受信を開始します。

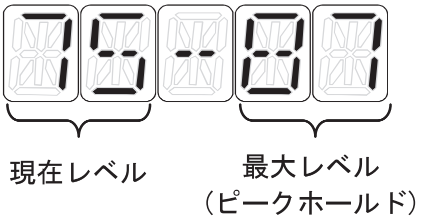






信号受信レベルの確認

衛星からのアンテナ信号受信状況を確認できます。降雨時、降雪時の電波の受信状態の確認やアンテナ方向を微調整する際などにお使いいただけます。リモコンの「レベル」ボタンを押すと表示の左側に現在の受信レベル、右側に受信の最大レベルが表示されます。



「現在レベル」は常時変動します

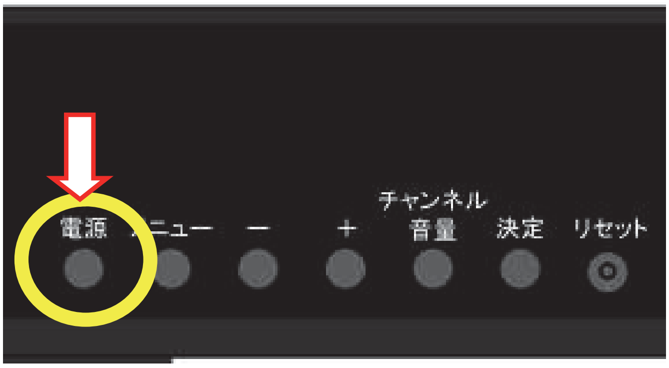
またリモコンの「◂」「▸」ボタンでアンテナの「局部発振周波数」、「コンバーター動作電圧」、「受信レベル」に表示を切り替えることができます。

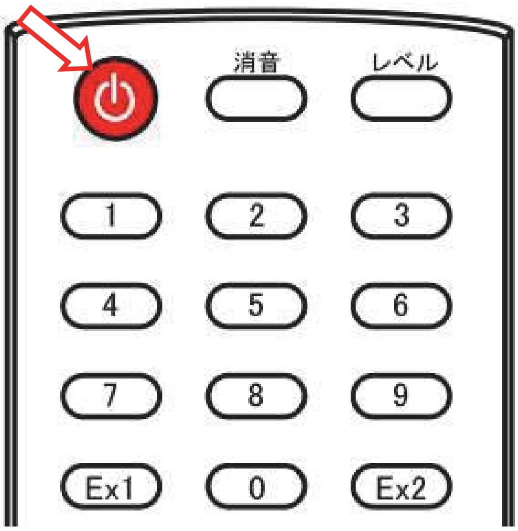
SPACE DiVA の信号を受信するとスタンバイランプが緑色に点灯します。
再度**「レベル」**ボタンを押すともとの表示に戻ります。

受信レベルの表示は本体の「メニュー」ボタンを押し「LEVEL」の表示になりましたら、決定ボタンを押すと、上記のレベルが表示されます。
また、「＋」「ー」ボタンでアンテナの「局部発振周波数」、「コンバーター動作電圧」、「受信レベル」に表示を切り替えることができます。

スタンバイランプが点灯しない、またはスタンバイランプが点滅している場合は別の衛星を受信しています。（この場合「OTHER」表示されることがあります。）アンテナの方向調整を行い、スタンバイランプが点灯し、受信レベルが60以上になるように調整してください。アンテナの微調整は27ページから28ページを参照してください。

基本的な使いかた





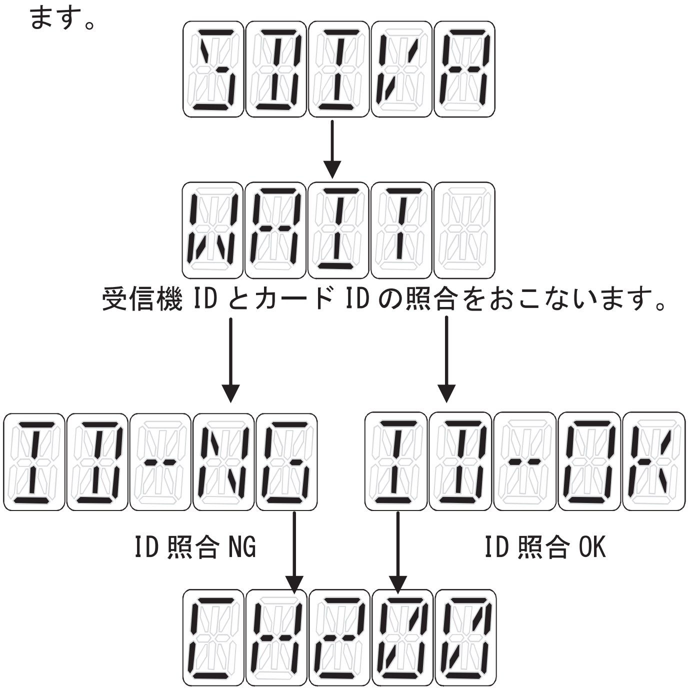
参考

スタンバイ時またはチューナー使用時に「決定」ボタンを押すと時計表示、もう一度押すとチャンネル表示になります（38ページ）。

リモコンボタンでの操作を中心に説明していますが、同様のボタンが本体にもある場合は本体からも同様に操作できます。

■電源を入れる

1. リモコンの「電源」ボタン（左上の赤色のボタン）」または本体の「電源」ボタンを押すとチューナー前面の赤色のスタンバイランプが消灯し電源が入ります。電源が入ると表示が下記順で切り替わります。



チャンネル番号表示に切り替わります。

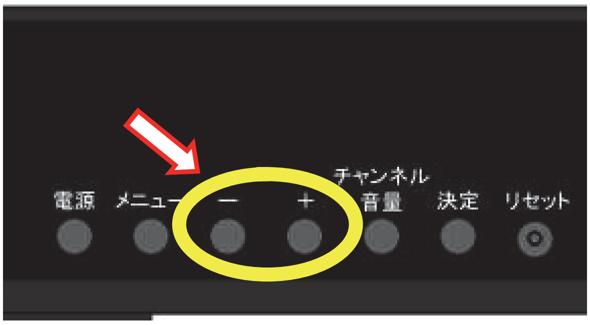
（表示するチャンネルは設定によります）

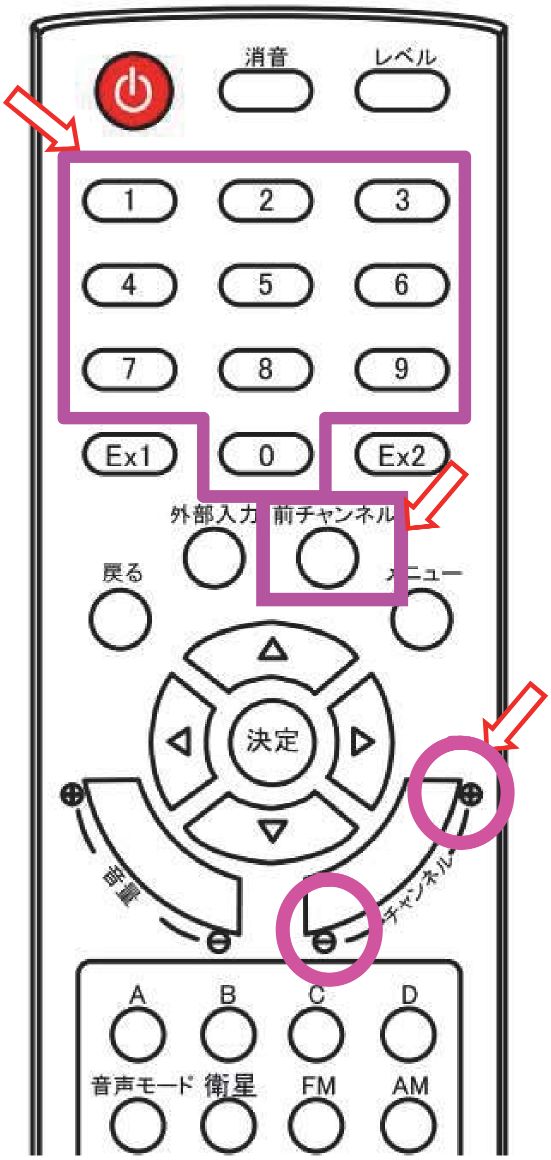
※**「ID-NG」**と表示された場合は、スマートカードが正しく挿入されているか（19 ページ）、受信契約をおこなっているか確認してください（10 ページ）。

最初に設置された場合は、ミュージックバードカスタマーセンターに、仮登録の連絡をしてください。

ミュージックバードカスタマーセンター

☎03−3221−9000





■放送を聴く

本機では衛星放送、お住まいの地域のAMラジオ、FMラジオをお楽しみいただけます。FM/AMラジオをお聴きになる場合、それぞれ付属のアンテナを接続してください。

本体で操作する場合は**「チャンネル／音量」**ボタンを押してチャンネルモードを選択します。本体の**「＋－」**ボタンを 1 回押すとチャンネルが 1 つ上下します。長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。
リモコンで操作する場合は**「数字(0～9)」**ボタンでチャンネル番号を直接入力して選局することができます。また**「チャンネル」**ボタンを 1 回押すとチャンネルが上下に 1 つ上下します。長押しすることでチャンネルが 10 チャンネルずつスキップします。
「前チャンネル」ボタンを押すと、押すたびに直前に聴取していたチャンネルと現在聴取しているチャンネルとが切り替わります。
裏番組の確認などに便利です。

※**「決定」**ボタンを押すと時計表示、もう一度押すとチャンネル表示になります。（38 ページ）

■衛星放送を聴く

【リモコンでの操作】

1.リモコンの「衛星」ボタンを押してください。

【本体での操作】

1.本体の「メニュー」ボタンを押し「＋」「－」ボタンで「AUX」を選択し「SAT」で「決定」ボタンを押してください。

2.もう一度「決定」ボタンを押すとチャンネル番号表示に切り替わります。

■ＦＭ放送を聴く

【リモコンでの操作】

1.リモコンの「FM」ボタンを押すと周波数が表示されます。

2.リモコンのテンキー（0～9の数字ボタン）でお聴きになりたいFM局の周波数を直接入力するか、又はリモコンのチャンネルボタンを押し、お聴きになりたいFM局の周波数に合わせてください。チャンネルボタンを押すたびに0.1MHzごとに周波数のアップダウンができます。

【本体での操作】

1.本体の「メニュー」ボタンを押し「＋」「ー」ボタンで「RADIO」を選択し「決定」ボタンを押してください。

2.「＋」「ー」ボタンで「FM」を選択し「決定」ボタンを押すと周波数が表示されます。
「＋」「ー」ボタンを押すたびに0.1MHzごとに周波数のアップダウンができます。

■ＡＭ放送を聴く

【リモコンでの操作】

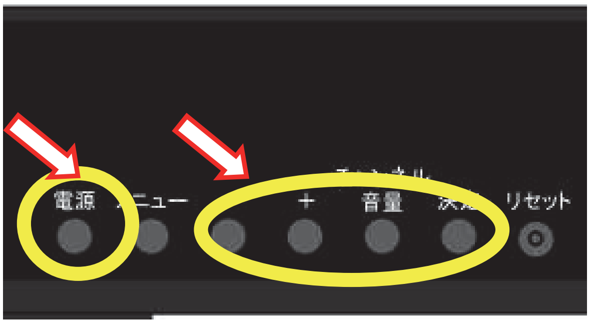
1.リモコンの「AM」ボタンを押すと周波数が表示されます。

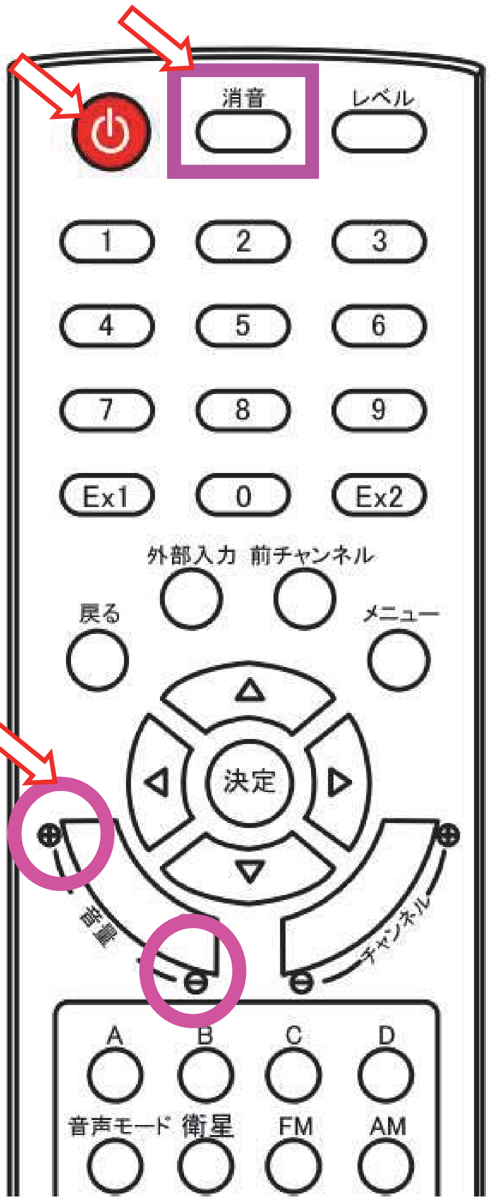
2.リモコンのテンキー（0～9の数字ボタン）でお聴きになりたいAM局の周波数を直接入力するか、又はリモコンのチャンネルボタンを押し、お聴きになりたいFM局の周波数に合わせてください。チャンネルボタンを押すたびに9kHzごとに周波数のアップダウンができます。

【本体での操作】

1.本体の「メニュー」ボタンを押し「＋」「ー」ボタンで「RADIO」を選択し「決定」ボタンを押してください。

2.「＋」「ー」ボタンで「AM」を選択し「決定」ボタンを押すと周波数が表示されます。
「＋」「ー」ボタンを押すたびに9kHzごとに周波数のアップダウンができます。





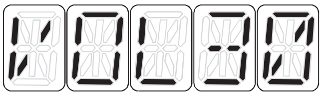
■音量を調整する

本体の「チャンネル/音量」ボタンを押して音量表示画面にしてください。「＋」「－」ボタンで音量のアップダウンができます。

またリモコンで操作する場合は音量ボタンで音量のアップダウンができます。

※リモコンの場合はチャンネル表示のまま音量ボタンで音量のアップダウンができます。

※光デジタル端子を使ってオーディオ機器と接続されている場合、チューナー本体で音量調整はできません。



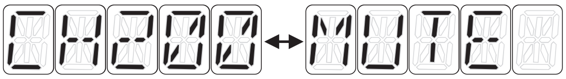
音量は「0～50」まで調整できます

■消音（ミュート）

リモコンの「消音」ボタンを押すと消音（ミュート）になります。又、本体の「チャンネル/音量」ボタンを押しながら「決定」ボタンを3秒以上押し続けると消音（ミュート）になります。消音機能の設定がされている場合、チャンネル番号とMUTEが交互に表示されます。

消音機能を解除する場合、設定と同じ操作をすると解除されます。

※光デジタル端子を使ってオーディオ機器と接続されている場合、チューナー本体で音量調整はできません。



音のエチケット

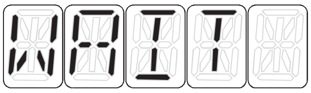
楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。

特に静かな夜間は窓を閉めるのもひとつの方法です。

関連機能「音声常時オフ」（36 ページ）

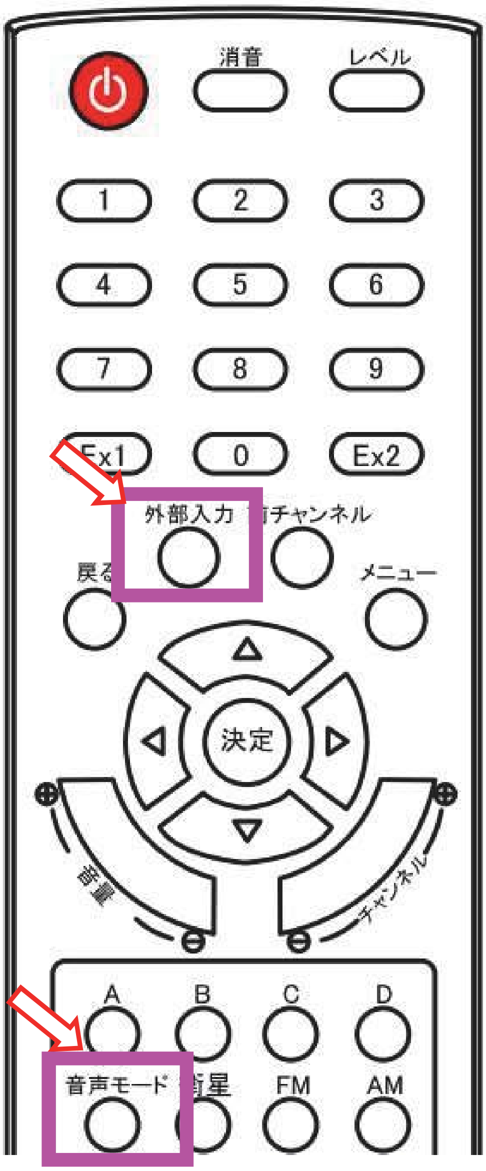
■電源を切る

「電源」ボタンを再度押すと、以下のメッセージが表示され、スタンバイモードになります。



スタンバイランプが赤色に点灯します。

使いかたにあわせた設定をする



オーディオモードの切り替え

リモコンの「音声モード」ボタンを押すとオーディオモードを表示します。ボタンを押すたびに下記のように表示が切り替わり、オーディオモードが交互に切り替わります。

STERE ◀—▶ MONO

表示は5秒後にもとの表示に戻ります。

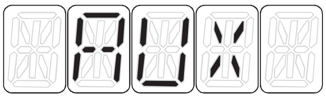
ステレオ STERE：左右の音がそれぞれ独立で立体感が得られるように音響を再生します。
「STERE」はSTEREOの略称です。

モノラル MONO：ステレオ放送の場合、左右の合成された音が両方のスピーカーより出力されます。

> ご注意
> ステレオ放送の場合に誤ってこのボタンを押すとモノラルに切り替わってしまいます。もう一度このボタンを押してご希望のモード「ステレオ/モノラル」に切り替えてください。

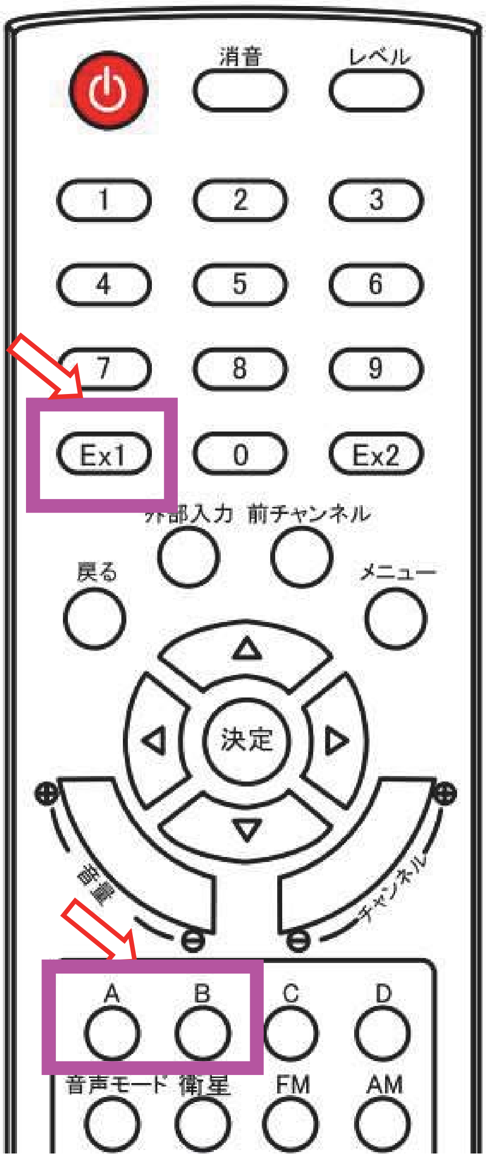
外部入力への切り替え

リモコンの「**外部入力**」ボタンを押すと下記のように表示が切り替わり、「外部入力」ボタンを押すたびにミュージックバード音楽放送受信と外部入力音声が交互に切り替わります。
外部入力切替は本体のメニューモードからの切り替えも可能です。本体の「メニュー」ボタンを押し「+」「−」を押してください。「AUX」表示で「決定」を押し、「+」「−」ボタンで「EXINP」を表示させ（点滅）、「決定」を２回押すと外部入力になります。ミュージックバード音楽放送受信に戻す場合は「メニュー」ボタンを押し「+」「−」ボタンで「AUX」表示にします。「決定」を押し、「+」「−」ボタンで「SAT」を表示させ（点滅）、「決定」を２回押すと戻ります。



※外部入力使用中は、チャンネル番号表示の代わりに「AUX」を表示します。
※FM/AMラジオ放送を聴いているときにリモコンの「外部入力」ボタンを押すと、外部入力音声に切り替わりますが、再度「外部入力」ボタンを押すと、ミュージックバード音楽放送に戻ります。

その他の機能



音声常時オフ

リモコンの「EX1」ボタンに続き「A」ボタンまたは「B」ボタンを押すことですべてのチャンネルまたは選択したチャンネルの音声を常時「オフ」にできます。

※電源オン/オフの操作を行っても、チャンネルの音声のオフは解除されません。

全チャンネル音量オフ「EX1」+「A」

リモコンの[EX1]ボタンに続き[A]ボタンを押すとすべてのチャンネルの音量が常時「オフ」になります。[EX1]ボタンと[A]ボタンを押すたびに「オン」/「オフ」が切り替わります。「オフ」設定時は緑色のスタンバイランプが点滅します。

選択チャンネル音量オフ「EX1」+「B」

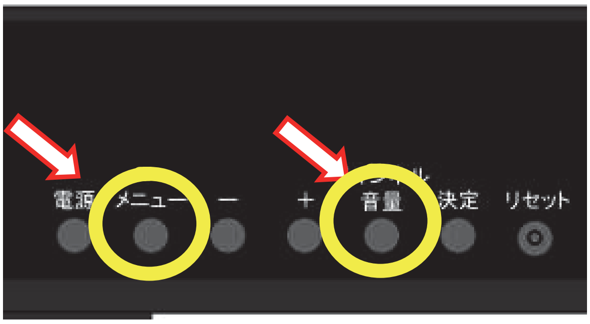
リモコンの「EX1」ボタンに続き「B」ボタンを押すと選択したチャンネルの音量が常時「オフ」になります。「EX1」ボタンと「B」ボタンを押すたびに「オン」/「オフ」が切り替わります。「オフ」設定時は緑色のスタンバイランプが点滅します。

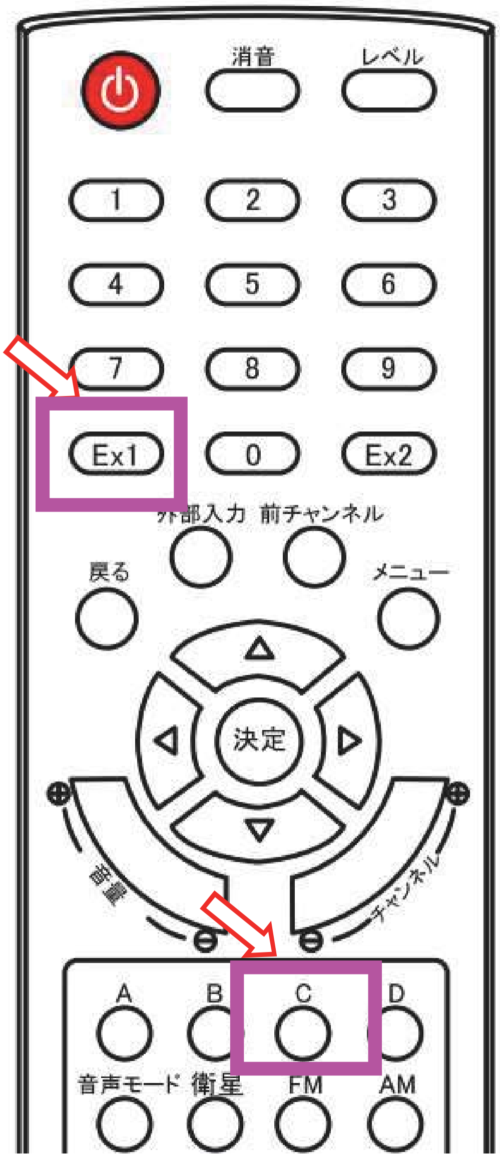
※一部のチャンネルのみ聴きたい時※

●聴取可能な全チャンネルのうち、一部のチャンネルのみを聴きたい場合は下記のように設定すると便利です。

①一旦、リモコンの「EX1」＋「A」ボタンですべてのチャンネルの音声を「オフ」にしてください。

②お聴きになりたいチャンネルのみリモコンの「EX1」＋「B」ボタンで選択チャンネル「オン」／「オフ」機能を「オン」にしてください。





キーロック「EX1」+「C」

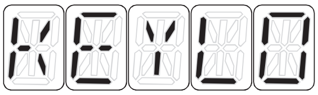
リモコンおよび本体のすべてのボタン操作を無効にします。

リモコンの「EX1」ボタンに続き「C」ボタンを押すことで本体およびリモコンのすべてのボタンの操作を無効にします。「EX1」と「C」ボタンを押すたびにキーロックの「オン」/「オフ」が切り替わります。

キーロック中は電源ボタンのみ操作が可能です。

※電源オン／オフの操作をおこなってもキーロック操作は解除されません。

キーロックすると下記表示に切り替わり、3 秒後にもとの表示に戻ります。



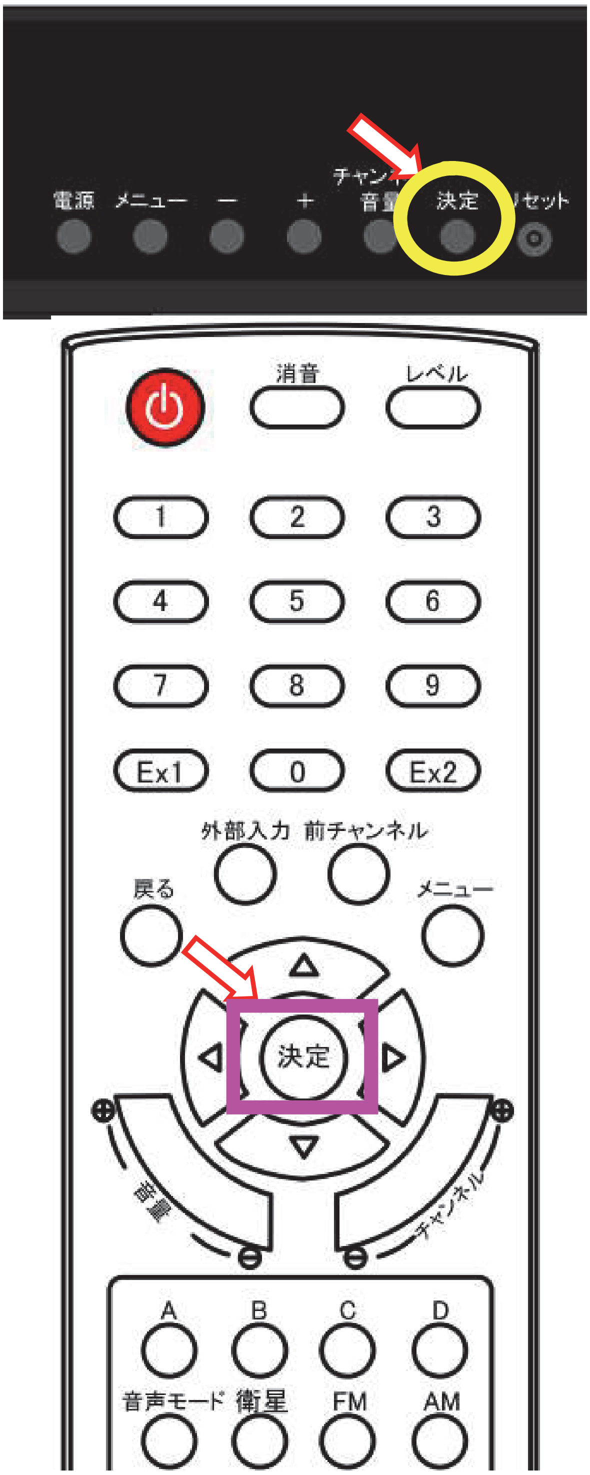
キーロック時にいずれかのボタンが押されると「KEYLO」表示に切り替わり、3 秒後にもとの表示に戻ります。

キーロック解除時は、チャンネル番号表示が 3 秒間点滅します。

キーロックは本体のボタン操作でも可能です。

「メニュー」ボタンを押しながら「チャンネル/音量」ボタンを3秒以上押し続けると「KEYLO」表示切り替わり、3病後にもとの表示に戻ります。

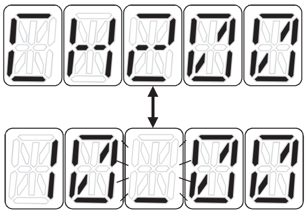
解除するには上記ボタン操作を再度行います。



時計表示機能

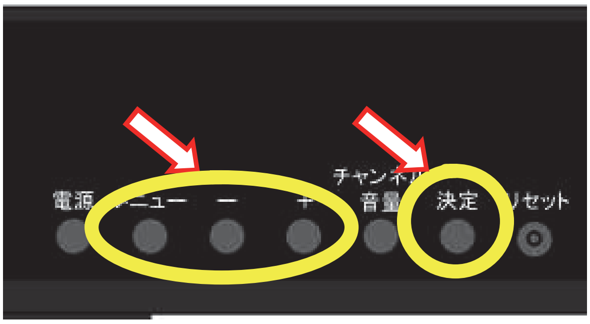
本機にて時計表示をおこないます。

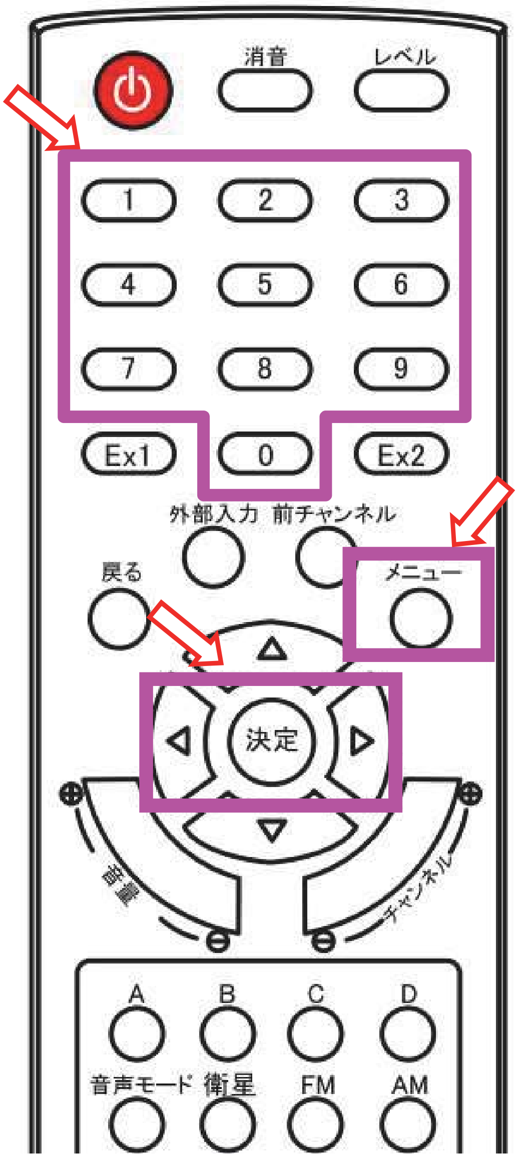
本体およびリモコンの**「決定」**ボタンを押すたびにチャンネル表示と時計表示が切り替わります。スタンバイ状態でも**「決定」**ボタンを押すと時計表示をおこないます。



※衛星から時刻情報を受信して、自動で時計を補正しています。そのため時計の設定は必要ありません。また、長期間衛星を受信できない場合は時計がずれる可能性があります。

メニューモードでの各種設定





メニューモードでは、音楽放送をより快適に楽しむためのさまざまな設定や確認をすることができます。メニューモードで設定した内容を取り消す場合、工場出荷設定（初期設定）を行ってください。（工場出荷設定を行うとすべての設定が初期状態に戻ります。→47ページを参照）

バックアップ設定

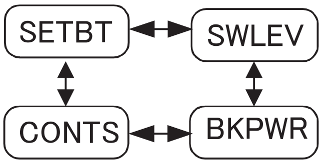
「メニュー」⇒「SYSET」⇒「BKUP」

悪天候などにより信号受信レベルが低下した際、本機に接続されたメモリープレーヤー等の電源を自動でオン／オフできるバックアップ機能を備えています。（業務用BGMとして利用する場合に設定します。別売の専用メモリープレーヤーが必要です。）
バックアップ中は、「チャンネル番号」と「CONTS（バックアップコンテンツ）」を交互に表示します。
スタンバイランプはオレンジ色に点灯します。

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「ー」ボタン、リモコンの「◂」「▸」ボタンを押し「SYSET」を選択し本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」を押し「BKUP」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

3. 本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すたびに切り替わります。



SETBT：バックアップ時間設定

SWLEV：切替レベルの設定

BKPWR：バックアップ電源供給設定

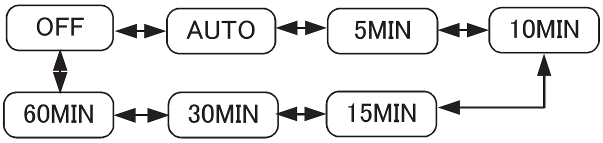
CONTS：バックアップコンテンツ設定

これより各項目に進んでください。

バックアップ時間設定

「メニュー」⇒「SYSET」⇒「BKUP」⇒「SETBT」⇒「決定」

1. バックアップ設定の操作で「SETBT」を選択し、「決定」ボタンを押すとバックアップ時間の選択画面が表示されます。



OFF:バックアップに切り替わらない。

AUTO:バックアップに切り替わり、信号受信レベルが復旧した場合すぐに衛星受信状態に戻る。

5分・10分・15分・30分・60分:
設定した各時間後に衛星受信状態に戻る。

いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2. もう一度「決定」ボタンを押すと「SETBT」の画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「メニュー」ボタンを押します。

切替レベルの設定

「メニュー」⇒「SYSET」⇒「BKUP」⇒「SWLEV」⇒「決定」

1. バックアップ設定の操作で「SWLEV」を選択して「決定」ボタンを押すとバックアップへ切り替えるレベルが表示されます。本体の「+」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」またはテンキー（数字の0～9のボタン）で設定値（10～40）を入力して本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

※バックアップに切り替わる信号受信レベルです。（工場出荷設定は25）

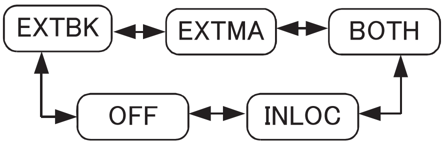
信号受信レベルが設定したレベルを下回った際、バックアップ機能が働きます。

2. もう一度「決定」ボタンを押すと「SWLEV」の画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「メニュー」ボタンを押します。

バックアップ電源供給設定

「メニュー」⇒「SYSET」⇒「BKUP」⇒「BKPWR」⇒「決定」

1. バックアップ設定の操作で「BKPWR」を選択して「決定」ボタンを押すとバックアップ端子の電源供給設定の画面が表示されます。
本体の「+」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すたびに下記の表示の順で表示が切り替わります。



EXTBK:バックアップモードでの外部入力使用時のみバックアップ端子に電源供給

EXTMA:手動操作での外部入力使用時のみバックアップ端子に電源供給

BOTH:外部入力使用時は常時電源供給

INLOC:本機電源とバックアップ端子電源供給が連動します。

OFF:バックアップ端子電源供給は常時オフ

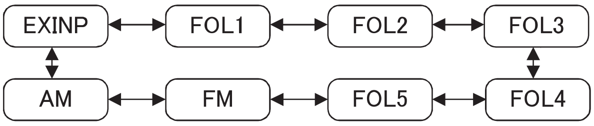
いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2. もう一度「決定」ボタンを押すと「BKPWR」の画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「メニュー」ボタンを押します。

バックアップコンテンツ設定

「メニュー」⇒「SYSET」⇒「BKUP」⇒「CONTS」⇒「決定」

1. バックアップ設定の操作で「CONTS」を選択して「決定」を押すとバックアップ作動時のコンテンツの表示画面が表示されます。
本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すたびに切り替わります。



EXINP：バックアップモード時、外部入力を出力します。

FOL1～5：使用しません。

FM：バックアップモード時、FM ラジオを出力します。

AM：バックアップモード時、AM ラジオを出力します。

いずれかの設定で**「決定」**ボタンを押して決定してください。

2. もう一度「決定」ボタンを押すと「CONTS」画面に戻ります。
それぞれのバックアップ機能の設定画面の後、「メニュー」ボタンを押すとチャンネル表示に戻ります。

スタートチャンネル設定

「メニュー」⇒「SYSET」⇒「SETCH」⇒「決定」

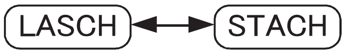
電源を入れたときに、最初に受信するチャンネルを設定することができます。

（通常は、電源を切ったときに使用していたチャンネルがスタートチャンネルになります）

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の［＋］［－］ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「SYSET」を選択して本体、またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の［＋］［－］ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」で「SETCH」を選択して本体、
またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

3. 本体の［＋］［－］ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」を押すたびに「LASCH」と「STACH」を繰り返し表示しますのでいずれかで本体、
またはリモコンの「決定」ボタンを押します。



LASCH：電源オフの前に受信したチャンネル
（ラストチャンネル）

STACH：指定チャンネルでスタート
（スタートチャンネル）、
また解除するには**「LASCH」**を選んでください。

4. 「STACH」を選択した時は、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンあるいはテンキー（数字の0～9ボタン）で希望のチャンネルを選んでください。「LASCH」を選択した時は画面が「Y／N」の表示になりますので「Y」を選択して本体、またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

5. もう一度、本体、またはリモコンの「決定」ボタンを押すと「LASCH」の表示に戻ります。

最大音量設定(衛星受信、外部入力)

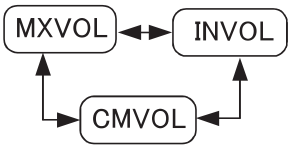
「メニュー」⇒「SYSET」⇒「AUSET」⇒「決定」

工場出荷時の最大音量は 50 に設定されています。ご使用の状況にあわせて音量の最大値を小さくすることができます。

1. 本体、またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「SYSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「AUSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください

3. 本体の「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンで下記のように順に切り替わりますので、いずれかで、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。
またはリモコンの「決定」ボタンを押します。



MXVOL:衛星受信チャンネル側の最大音量設定

INVOL:外部入力側の最大音量設定

CMVOL:使用しません。

4. 本体の「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタン、あるいはテンキー(数字の0〜9のボタン)で設定値を入力し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

5. もう一度、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押すと「MXVOL」または「INVOL」に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには「メニュー」ボタンを押してください。

明るさ設定

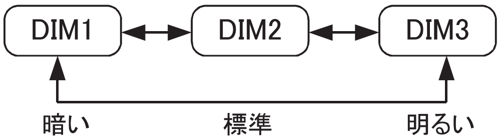
「メニュー」⇒「SYSET」⇒「BRSET」⇒「決定」

ディスプレイ表示の明るさを 3 段階に設定できます。

1. 本体、またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「SYSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2. 本体、またはリモコンの「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「BRSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

3. 本体の「+」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すたびに下記の表示に切り替わります



DIM1:暗い
DIM2:標準
DIM3:明るい

4. いずれかの設定で、本体、またはリモコンの「決定」ボタンを押して設定を決定してください。画面が「BRSET」に切り替わります。
またはリモコンの「決定」ボタンを押します。

リモコン設定
「メニュー」⇒「SYSET」⇒「RCU」⇒「決定」

リモコンでの操作の有効／無効の切り替えができます。

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンで「SYSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンで「RCU」を選択し、本体またはリモコンの「決定ボタンを押してください。

3. 本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すたびに画面の表示が「RCU_F」と「CODE」に切り替わります。

RCU_F ←→ CODE

RCU_F:リモコン操作の有効／無効を設定します。

CODE:リモコンのコードを設定します。

これより各項目に進んでください。

リモコン操作の有効／無効の設定
「メニュー」⇒「SYSET」⇒「RCU」⇒「RCU_F」⇒「決定」

1. リモコン設定の画面から「RCU_F」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押すと「ON」の画面が表示されます。本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すと「OFF」の画面に切り替わります。本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すたびに「ON」「OFF」が切り替わります。

ON：リモコンでの操作が可能です。
OFF：リモコンでの操作を受け付けません。
いずれかの設定で「決定」ボタンを押して決定してください。

リモコンコードの設定
「メニュー」⇒「SYSET」⇒「RCU」⇒「CODE」⇒「決定」

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンで「SYSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。「RCU」画面が表示されますので「決定」ボタンを押して「RCU_F」の表示にし、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押し「CODE」画面にしてください。本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すたびに「CODE1」「CODE2」に切り替わります。

CODE1:CODE1 のリモコンを受信します。

通常は CODE1 のリモコンが付属されています。

CODE2:CODE2 のリモコンを受信します。

CODE2 のリモコンは別売りになります。

いずれかの設定で、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して決定してください。

2. もう一度「決定」ボタンを押すと「RCU」画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには、本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

アンテナ設定

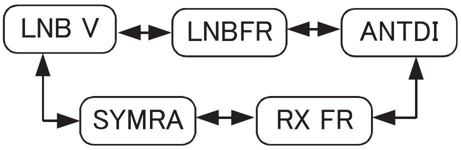
「メニュー」⇒「INSET」⇒「ANTSE」⇒「決定」

アンテナの設定方法については「初期設定（26～30ページ）」の中で説明してありますが、再設定が必要な場合は、このモードで設定することができます。

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し本体の「＋」「－」ボタン、またはリモコンの「◀」「▶」ボタンで「INSET」の画面を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押し「ANTSE」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

3. 本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すたびに表示が下記の様に切り替わります。



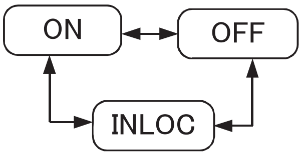
LNV B:コンバーターへの電源供給を設定します。
LNBFR:コンバーターの局部発振周波数の設定をします。
ANTDI:コンバーターへの電源供給電圧の設定をします。
RX FX:コンバーターの受信周波数の設定をします。
SYMRA:コンバーターのシンボルレートの設定をします。

これより設定したい項目を表示させ「決定」ボタンを押し、決定してください。

コンバーターの電源設定（LNB　V）

「メニュー」⇒「INSET」⇒「ANTSE」⇒「LNB　V」⇒「決定」

1. アンテナ設定の操作から「LNB　V」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してコンバーター電源の選択をしてください。
本体の「＋」「－」またはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すたびに「ON」「OFF」「INLOC」が切り替わります。



ON:コンバーターへの電源を供給します。
OFF:コンバーターへの電源供給を行いません。
INLOC:チューナーの電源と連動してコンバーターへ電源を供給します。

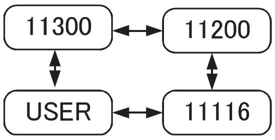
いずれかの設定で、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押して設定を決定してください。

2. もう一度「決定」ボタンを押すと「LNB　V」の画面に戻ります。チャンネル番号表示に戻るには、本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

コンバーターの局部発振周波数の設定（LNBFR）

「メニュー」⇒「INSET」⇒「ANTSE」⇒「LNBFR」⇒「決定」

1. アンテナ設定の操作から「LNBFR」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押すとコンバーター局部発振周波数が表示されます。本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◀」「▶」ボタンを押すたびに周波数が切り替わります。



11300:アンテナの局部発振周波数を11300MHzに設定します。
11200:アンテナの局部発振周波数を11200MHzに設定します。
11116:アンテナの局部発振周波数を11116MHzに設定します。
USER:お客様がご使用中のアンテナの局部発振周波数に変更できます。

2. お客様のご使用中のアンテナの局部発振周波数に合わせ、アンテナの局部発振周波数を決定してください。「11300」「11200」「11116」のいずれかの表示で「決定」を押してください。「USER」で決定を押すと、リモコンのテンキー（数字の0～9のボタン）で直接、局部発振周波数を入力できます。入力後「決定」ボタンを押して数値を決定してください。

3. もう一度「決定」ボタンを押すと「LNBFR」の画面に戻ります。チャンネル表示に戻るには本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

コンバーターへの電源供給電圧の設定

「メニュー」⇒「INSET」⇒「ANTSE」⇒「ANTDI」⇒「決定」

1. アンテナ設定の操作から「ANTDI」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押すとコンバーターへの電源供給電圧が表示されます。

2. 本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すごとに「15/11」の点滅が切り替わります。お客様がご使用中のアンテナのコンバーターの偏波電圧に合わせ、点滅している電圧で「決定」ボタンを押し、電圧を決定してください。偏波面切り替えタイプのアンテナの場合、垂直（V）の動作電圧に合わせてください。

3. もう一度「決定」ボタンを押すと「ANTDI」の画面に戻ります。チャンネル表示に戻るには本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

受信周波数の設定

「メニュー」⇒「INSET」⇒「ANTSE」⇒「RX FR」⇒「決定」

1. アンテナ設定の操作から「RX FR」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押すとアンテナの受信周波数が表示されます。

2. お客様がお使いのアンテナの受信周波数にあわせ、リモコンのテンキー（数字の0～9のボタン）で受信周波数を入力し、「決定」ボタンを押してください。

3. もう一度「決定」ボタンを押すと「RX FR」の画面に戻ります。チャンネル表示に戻るには本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

※工場出荷時設定は「12658」となります。

シンボルレートの設定

「メニュー」⇒「INSET」⇒「ANTSE」⇒「SYMRA」⇒「決定」

1. アンテナ設定の操作から「SYMRA」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押すとアンテナのシンボルレートが表示されます。

2. お客様が受信する放送のシンボルレートに合わせ、リモコンのテンキー（数字の0～9のボタン）でシンボルレートを入力し、「決定」ボタンを押してください。

※工場出荷時設定は「21096」となります。

3. もう一度「決定」ボタンを押すと「SYMRA」の画面に戻ります。チャンネル表示に戻るには本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

番組情報の更新(UPDCH)

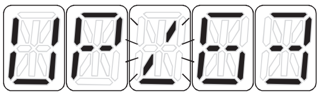
「メニュー」⇒「INSET」⇒「UPDCH」⇒「決定」

番組情報更新については「初期設定(25～29)ページ」の中で説明してありますが、再更新が必要な場合は、このモードで更新することができます。

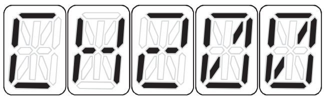
1.本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「ー」ボタン、またはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押して「INSET」を選択し、本体またはリモコンの「決定」ボタンを押してください。

2.「UPDCH」と表示されますので、「決定」ボタンを押すと「Y／N」（Yが点滅）の画面になりますので、「決定」ボタンを押して「Y」（点灯）を選択してください。

3.もう一度「決定」ボタンを押すと番組情報更新が開始され、進捗状況が表示されます。



4.番組情報の取得、更新が完了すると自動的に200チャンネル（CH200）を受信します。その後、ご希望のチャンネルを選択してください。



ソフトウェアのバージョンアップ(OTA)

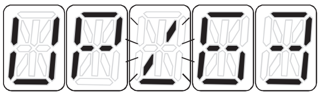
「メニュー」⇒「INSET」⇒「OTA」⇒「決定」

衛星を通じてチューナーのソフトウェアのバージョンアップ（OTA）を行う機能です。ソフトウェアのバージョンアップ（OTA）には、しばらく時間がかかることがあります。

1.本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「INSET」を選択し、「決定」ボタンを押してください。

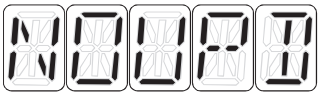
2.本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、「OTA」を選択し「決定」ボタンを押すと「Y／N」（Yが点滅）の画面になりますので、「決定」ボタンを押して「Y」（点灯）を選択してください。

3.もう一度「決定」ボタンを押すとソフト更新確認が行われ、更新がある場合はダウンロードが自動的に開始されます。進捗状況が表示されます。



※更新が完了すると再起動します。

※更新がない場合は以下のように表示されます。



4.「決定」ボタンを押すと「OTA」画面に戻ります。チャンネル表示に戻るには本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

工場出荷設定･初期設定（FASET）

「メニュー」⇒「INSET」⇒「FASET」⇒「決定」

本機の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

※工場出荷状態に戻した場合、お客様が設定した内容は全て消去されますのでご注意ください。

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「－」ボタンを押し、「INSET」を選択し「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し「FASET」を選択し「決定」ボタンを押すと「Ｙ／Ｎ」（Ｙが点滅）した画面になりますので「決定」ボタンを押し「Ｙ」（点灯）を選択してください。

3. もう一度「決定」ボタンを押すと工場出荷設定・初期設定がスタートし、画面が消えます。数分でチューナーが再起動しますので、再度、初期設定（25～29ページを参照、アンテナの設定から順番に）再設定してください。

工場出荷時のパラメータ設定

	項目	設定	設定値	備考
01	LNB 電源供給設定	常時供給	ON	ただし、初期設定が完了するまでは、LNB 電源 OFF
02	LNB 周波数設定	11300MHz	11300	
03	受信周波数設定	12658MHz	12658	
04	シンボルレート設定	21096Ksps	21096	
05	アンテナ偏波設定	11V（垂直）	11	
06	最大音量設定(衛星受信)	50(最大)	50	
07	最大音量設定(外部入力)	50(最大)	50	
08	最大音量設定(ＣＭ)	50(最大)	50	
09	明るさ設定	標準	DIM2	
10	バックアップ時間設定	オフ	OFF	
11	切替レベル設定	25	25	
12	バックアップ電源供給設定	常時 OFF	OFF	
13	コンテンツ設定	外部入力	EXINP	
14	自動外部切替設定	オフ	OFF	
15	切替確認時間設定	4 秒	4SEC	
16	切替感度設定	標準	MID	
17	スタートチャンネル設定	ラストチャンネル	LASCH	
18	リモコン設定	リモコン信号受付	ON	
19	リモコンコード設定	リモコンコード	CODE1	
20	MCAN データ設定	外部出力	EXT	
21	MCAN サイト設定	設定無し	00000	
22	MCAN PID 設定	設定無し	00	
23	MCAN ログ設定	オフ	OFF	
24	スリープタイマー機能	オフ	OFF	
25	タイマープレイ機能	オフ	OFF	タイマー設定内容もすべてリセットされます。
26	入力設定	衛星受信	SAT	
27	音量設定	30	VOL30	
28	オーディオモード	ステレオ	STERE	
29	FM ラジオ周波数	76.0MHz	76_0	
30	AM ラジオ周波数	531KHz	0531	

本機に関する情報を見る

チューナーインフォメーションを表示させる(INFO)

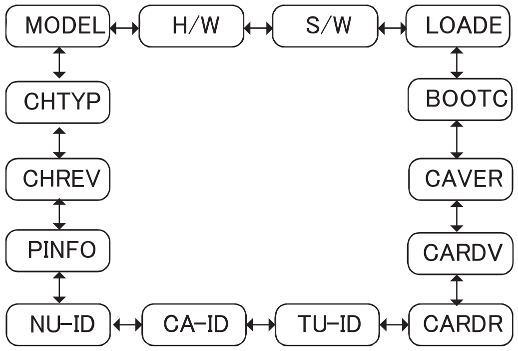
「メニュー」⇒「INFO」⇒「決定」

ソフトウェアのバージョンやカード ID 番号など、

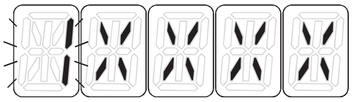
本機に関する情報を見ることができます。

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「+」「−」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「INFO」を選択し、「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「+」「−」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すたびに下記の順で表示が切り替わります。

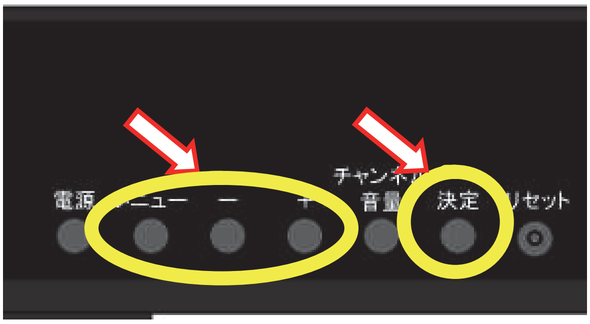


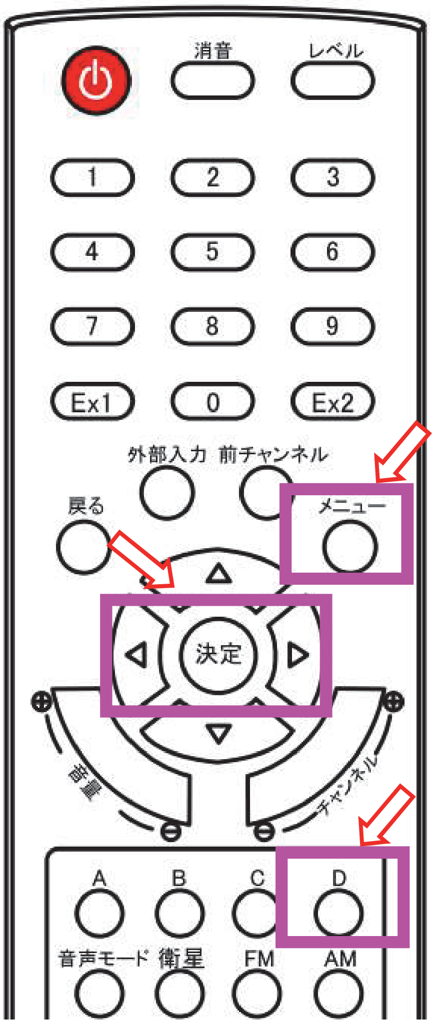
3. いずれかで「決定」ボタンを押すと、そのインフォメーションが表示されます。



※左端の点滅数字がページ数を表しています。

4. 本体の「+」「−」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンでページを切り替えることができます。





スリープタイマーは「D」ボタンを押すことで設定することができます。

チャンネル番号表示時に「D」ボタンを押すと、時計周りで設定が切り替わります。

スリープタイマー機能（SLEEP）

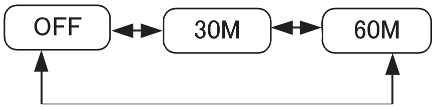
「メニュー」⇒「TIMER」⇒「SLEEP」⇒「決定」

スリープタイマーは設定した時間で自動的に電源を切る機能です。30分、60分、OFF（解除）が選択できます。

1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「TIMER」を選択し、「決定」ボタンを押してください。

2. 「SLEEP」の表示になりますので「決定」ボタンを押すと「OFF（解除）」の表示になります。

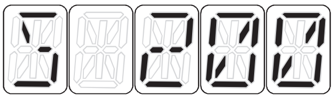
3. 本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押すたびに[OFF]「30M」「60M」が切り替わります。



いずれかの設定で、**「決定」**ボタンを押して決定してください。

4. もう一度「決定」ボタンを押すと「SLEEP」の画面に戻ります。チャンネル番号の表示に戻すには「メニュー」のボタンを押してください。

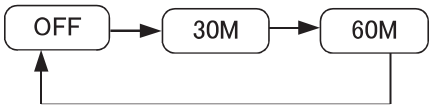
スリープタイマーが設定されている場合は、チャンネル表示の左側に**「S」**が表示されます。



※スリープタイマーと次項のタイマープレイが両方設定されている場合はチャンネル番号表示の前に「T」と「S」が表示されます。

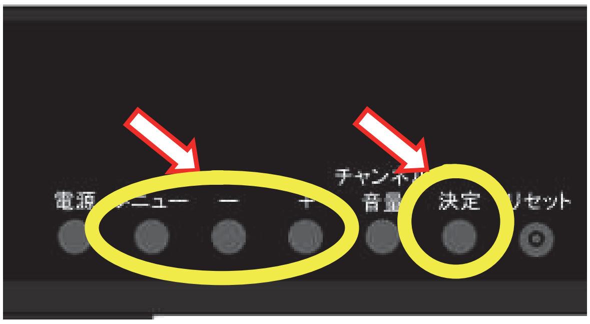
5. **簡単設定**（リモコンで設定ができます）

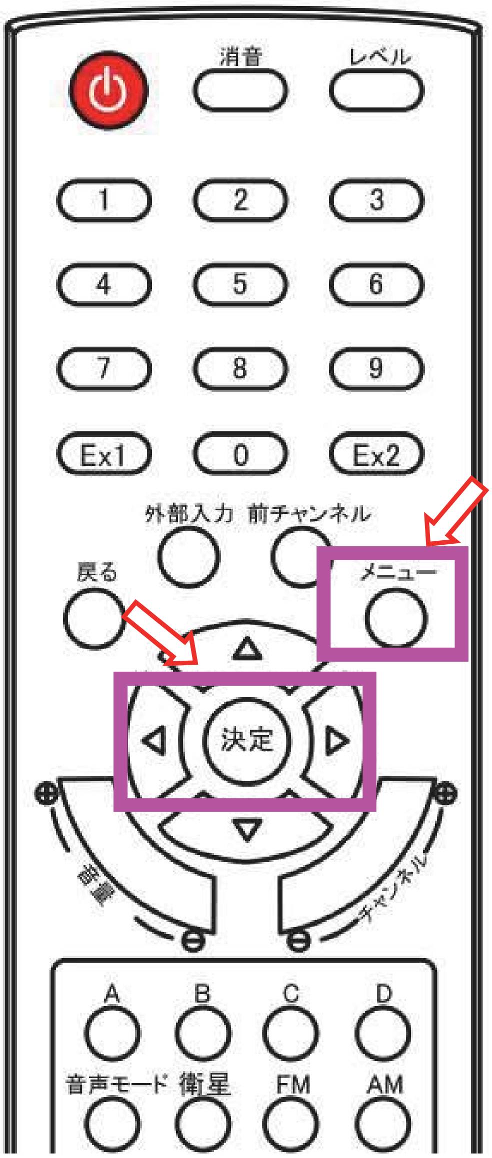
スリープタイマーはリモコンの「D」ボタンを押すことで簡単に設定することができます。
チャンネル番号表示時に「D」ボタンを押すと、時計回りで設定が切り替わります。



5 秒後にチャンネル番号表示に戻り、選択された設定が有効になります。

※スリープタイマーが設定されている状態（チャンネル番号の前に「S」の表示がある状態）で再度「D」ボタンを押すとスリープタイマーの残時間が5秒間表示されます。残時間表示中に再度「D」ボタンを押すとスリープタイマーが解除されます。





タイマープレイ機能

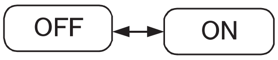
「メニュー」⇒「TIMER」⇒「TPLAY」⇒「決定」

開始時間、終了時間を設定してご希望のチャンネルを聴くことができます。タイマーの設定は開始時間、終了時間を合わせて32個まで設定ができます。

1. 本体、またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「TIMER」を選択し「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」で「TPLAY」を選択し「決定ボタンを押してください。

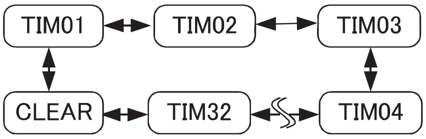
3. タイマー機能の無効「OFF」／有効「ON」を選択し「決定」ボタンを押してください。



「OFF」を選択した場合、タイマーは動作しません。

タイマーを動作させる場合、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」で「ON（点滅）」を選択し「決定」ボタンを押してください。

4. 「ON（点灯）」になったら、再度「決定」ボタンを押し、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」を押し、設定したいタイマー番号「TIM01～32（点滅）」または「CLEAR」を選択してください。



TIM01-32：タイマー番号 01～32
CLEAR　：全てのタイマー設定を削除

「TIM01～32」のいずれかを選択し「決定」ボタンを押し、「TIM01～32（点灯）」後、再度「決定」ボタンを押します。

このあと手順５へ進んでください。

※全てのタイマー設定を削除する場合は

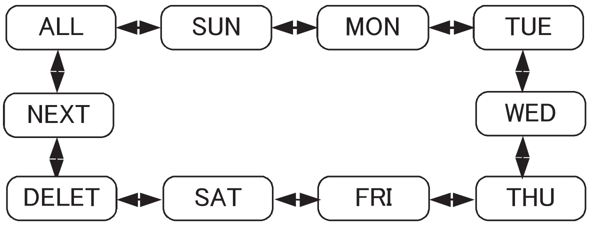
①**「CLEAR」**を選択して**「決定」**ボタンを押します。

②もう一度**「決定」**ボタンを押すと**「Y/N」**の画面となります。

③**「Y」**を選んで**「決定」**ボタンを押します。

④**「Y」**を確認後**「決定」**ボタンを押しますと、全ての設定が削除されます。このあと手順４(52ページ)へ戻ります。入力を終了するには**「メニュー」**ボタンを押して終了します。

5.曜日の設定をします。本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、曜日の選択をし「決定」ボタンを押してください。「決定」ボタンを押すとチャンネル番号の左側に「＊」が点灯します。2つ以上の曜日を設定する場合は、1つ目の曜日を設定した後、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、希望の曜日を選択後「決定」ボタンを押してください。「ALL」を選択するとすべての曜日が選択されます。



※曜日参考 日:SUN 月:MON 火:TUE 水:WED

木:THU 金:FRI 土:SAT 全曜日:ALL

※曜日を選択していないと**「NEXT」**を選択しても次の設定に進みません。

※個別にタイマー設定を削除する場合は

① **「＋－」** ボタンまたは**「左右」**ボタンで**「DELET」**を選択して、**「決定」**ボタンを押します。

②もう一度**「決定」**ボタンを押すと**「Y/N」**の画面となります。

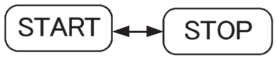
③**「Y」**を選んで**「決定」**ボタンを押します。

④**「Y」**を確認後**「決定」**ボタンを押しますと、選択したタイマー設定が削除されます。

6.曜日の設定が終了したら、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、「NEXT」を選択し、「決定」ボタンを押すと、時間設定の画面になります。
現在時間が表示されていますので、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押して「時（24時間）」の選択をし「決定」ボタンを押してください。
「分(60分)」の設定になりますので、本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押して「分」を選択してください。

※同曜日同時間の設定はできません。「ERROR」となります。

7.タイマーの開始または終了の設定をします。本体の「＋」「－」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、[START]「STOP」を選択してください。タイマーで電源を入れる場合「START（点滅）」を、電源を切る場合は「STOP（点滅）」を選択し、「決定」ボタンを押すとそれぞれ点灯に変わります。



※「STOP」を選択し、「決定」ボタンをした場合「TOMO1（点滅）」に戻ります。

入力を続ける場合は手順4（52ページ）へ戻ります。入力を終了する場合は「メニュー」ボタンを押して終了します。

8.タイマーで聴きたい音源を選択します。本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、「SAT（衛星受信）」,「外部入力（EXINP）」,「FM（FMラジオ）」,「AM（AMラジオ）」,「CM（使用しません）」を選択し、「決定」ボタンを押してください。

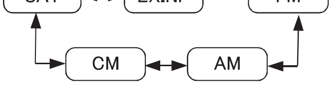
＊衛星放送を聴きたい場合は「SAT（点滅）」を選択し「決定」ボタンを押して「SAT（点灯）」にしてください。再度「決定」ボタンを押すとチャンネル設定画面に進みます。本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、希望のチャンネル（点滅）を選択し「決定」ボタンを押しチャンネル番号（点灯）にし、再度「決定」ボタンをして、9.音量調節（VOL）画面に進んでください。

＊外部入力端子に接続した機器を聴きたい場合は「EXINP（点滅）」を選択し、決定ボタンを押し「EXINP（点灯）」にしてください。再度「決定」ボタンを押して9.音量調節（VOL）に進んでください。

＊FMラジオを聴きたい場合は「FM（点滅）」を選択し、決定ボタンを押し「FM（点灯）」にしてください。再度「決定」ボタンを押すとFM局の周波数が表示されます。本体の「+」「-」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」、テンキー（0～9の数字）を押して、お聴きになりたいFM局の周波数に合わせ「決定」ボタンを押し、表示を点灯にしてください。再度「決定」ボタンを押して9.音量調節（VOL）に進んでください。

＊AMラジオを聴きたい場合は「AM（点滅）」を選択し、決定ボタンを押し「AM（点灯）」にしてください。再度「決定」ボタンを押すとAM局の周波数が表示されます。本体の「+」「-」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」、テンキー（0～9の数字）を押して、お聴きになりたいAM局の周波数に合わせ「決定」ボタンを押し、表示を点灯にしてください。再度「決定」ボタンを押して9.音量調節（VOL）に進んでください。

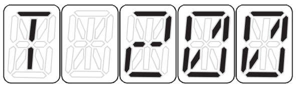
＊ＣＭ （使用できません）



9.タイマー動作時の音量設定

「VOL15（点滅）」の表示に切り替わりますので、体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し希望の音量を選択し「決定」ボタンを押します。「VOL○○」が点灯しますので再度、決定ボタンを押し「TIM01（点滅）」の表示にしてください。チャンネル表示の戻るには、本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

タイマープレイが設定されている場合は、チャンネル番号の左に「T」が表示されます。
スリープ機能が設定されている場合は、チャンネル番号の左に「S」が表示されます。
タイマープレイとスリープ機能が両方設定されている場合はチャンネル表示の左に「T」と「S」が表示されます。



※タイマープレイで設定された曜日は、次週も同じ時間で機能します。機能をさせない場合は10.設定したタイマーを解除（クリア）する 3.～5.設定したタイマーの内、1つを解除（クリア）する の項目に従って、設定を解除（クリア）してください。

10. 設定したタイマーを解除する

タイマー設定を全て、または個別に解除することができます。

1. 設定したタイマーを無効にするには、本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、「TIMER」を選択し、「決定」、さらに「＋」「ー」ボタンまたはの「◂」「▸」ボタンを押し、「TPLAY」選択後、「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンで「OFF（タイマー機能無効）」を選択し「決定」ボタンを押してください。（この場合、タイマー機能で設定した項目は保存されています）

2. 設定したタイマーを解除（クリア）するには、タイマープレイ設定操作で「TPLAY」選択後、「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンで「ON（タイマー機能有効）」を選択し「決定」ボタンを押します。「TIM01（点滅）」が表示されますので「＋」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンを押し、「CLEAR」を選択し、「決定」ボタンを押します。「Y／N（点滅）」の表示になりますので「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンを押して「Y（点滅）／N」表示にします。「決定」ボタンを押し、「Y（点灯）」の表示にし、再度「決定」ボタンをします。「TIM01（点滅）の表示になり、設定されたタイマーを全て解除（クリア）になります。チャンネル番号表示にするには、本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

3. 設定したタイマーの内、1つの設定だけ解除（クリア）するには、タイマープレイの設定操作で「TPLAY」選択後、「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンで「ON（タイマー機能有効）」を選択し「決定」ボタンを押します。「TIM01（点滅）」が表示されますので「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンを押し、クリアしたいタイマー番号を選択し「決定」ボタンを押します。タイマー番号が点灯したら、「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンを押し、「DELET（点滅）」を選択し、「決定」ボタンを押します。「DELET（点灯）」になったら再度「決定」ボタンを押します。「Y／N（点滅）」の表示になりますので「＋」「ー」ボタンまたは「◂」「▸」ボタンを押して「Y（点滅）／N」の表示にしてから「決定」ボタンを押し「Y（点灯）」の表示にし、再度「決定」ボタンをします。「TIM01（点滅）の表示になり、設定されたタイマー番号の設定を解除（クリア）にします。
チャンネル番号表示にするには、本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押してください。

タイマーチェック機能

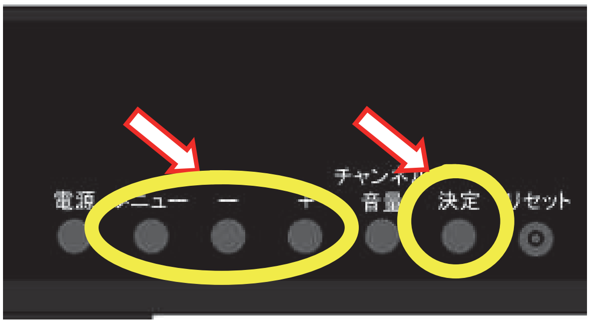
タイマープレイを設定後、簡単に設定内容の確認ができます。

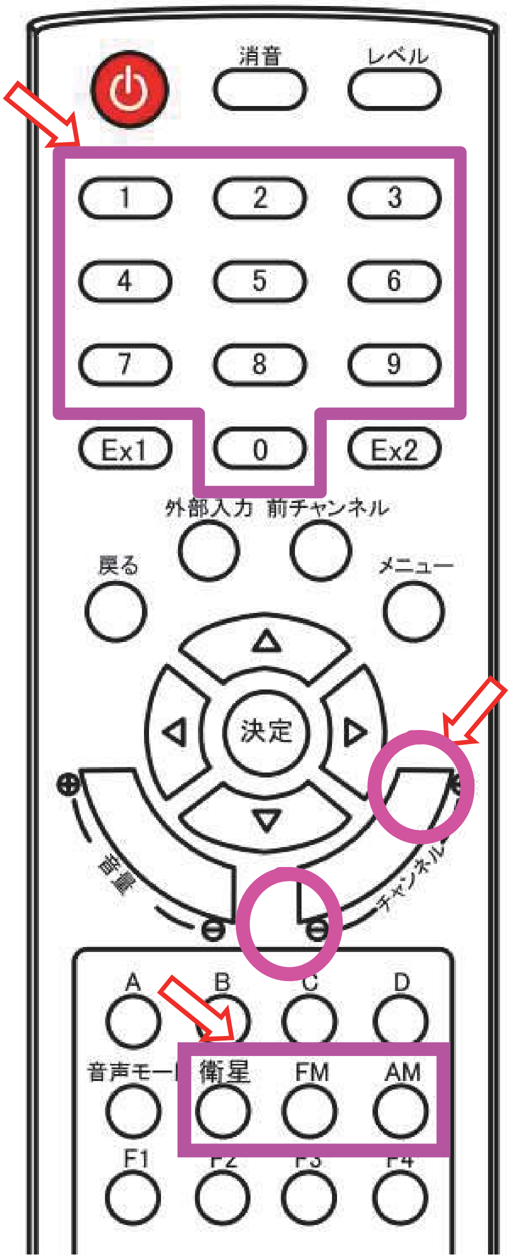
1. 本体またはリモコンの「メニュー」ボタンを押し、本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し、「TIMER」を選択し「決定」ボタンを押してください。

2. 本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンで「CHECK」を選択し決定ボタンを押してください。

3. 本体の「＋」「ー」ボタンまたはリモコンの「◂」「▸」ボタンを押し確認をしたいタイマー番号（「TIM**」）を表示させ、「決定」ボタンを押してください。

4. 「TIM**」で設定した内容が「決定」ボタンを押すたびに表示されます。最後まで表示すると「CHECK」の画面に戻ります。





FM, AM ラジオ機能

本機ではお住まいの地域のラジオ放送をお楽しみいただけます。FM ラジオは付属のアンテナを接続してください。AM ラジオのアンテナは別売りとなります。

１．**「メニュー」**ボタンを押し、本体の**「＋－」**ボタンまたはリモコンの**「左右」**ボタンで**「RADIO」**を選択し、**「決定」**ボタンを押します。

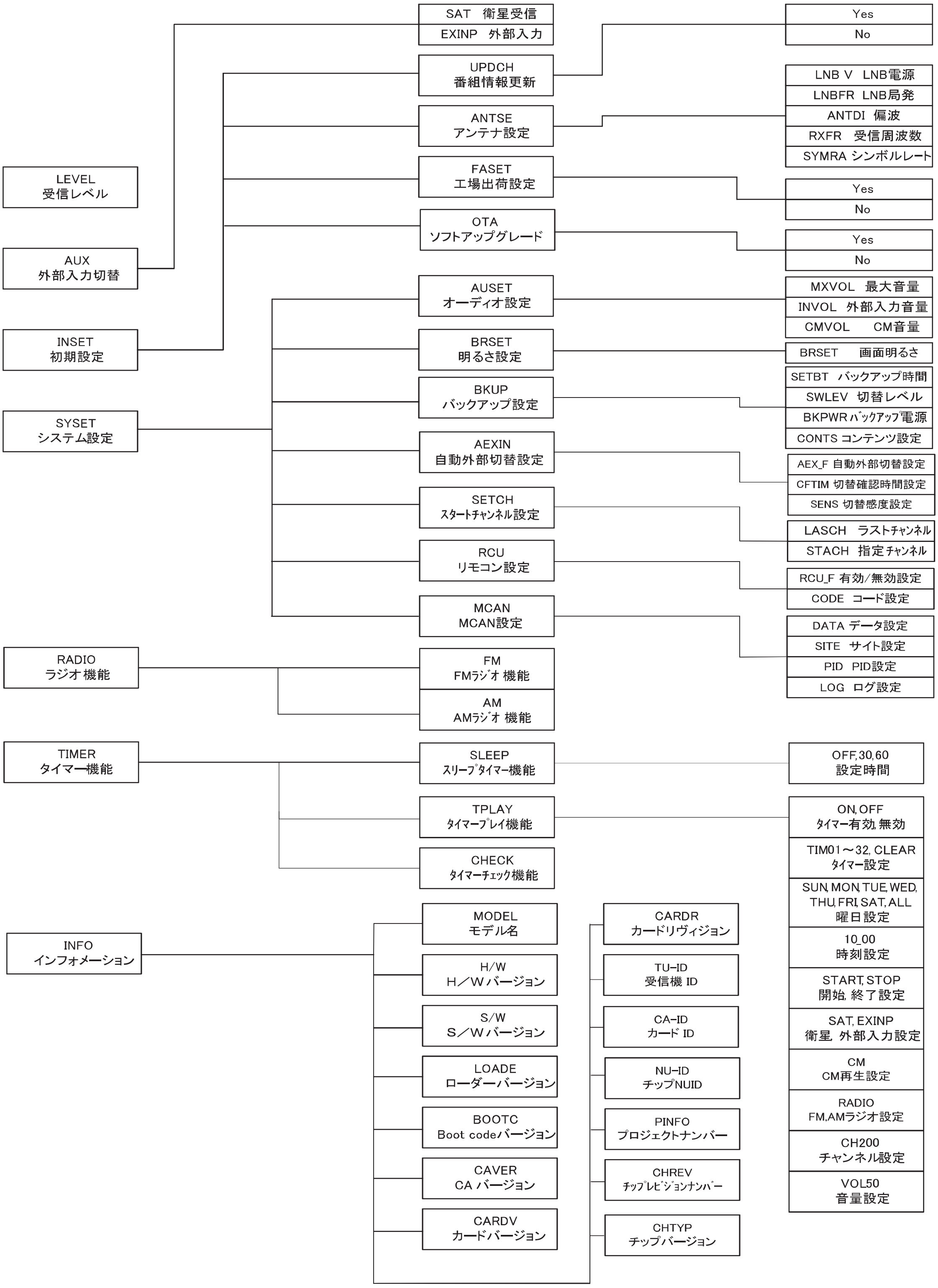
2.**「FM」**または**「AM」**を選択します。
「＋－」ボタンまたは**「左右」**ボタンで選択し、**「決定」**ボタンを押します。

3.**「FM」**または**「AM」**の受信周波数を設定します。本体の**「＋－」**ボタンまたはリモコンの**「チャンネル」**ボタン、**「数字 0～9」**ボタンで放送局の周波数を入力してください。

※**「＋－」**ボタンまたは**「チャンネル」**ボタンを押すたびに、FM の場合は 0.1MHz 毎、AM の場合は 9kHz 毎に周波数が変わります。
※リモコンから**「FM」**ボタンまたは**「AM」**ボタンを押すことで、切替操作ができます。衛星放送に戻すには**「衛星」**ボタンを押してください。
また、本体操作にて衛星放送に戻すには**「メニュー」**ボタンを押し**「AUX」**を選択して**「決定」**ボタンを押します。**「SAT」**を選択して**「決定」**ボタンを押すと衛星放送に戻ります。
チャンネル番号表示に戻るには**「メニュー」**ボタンを押します。

メニューモード一覧

リモコンの「**戻る**」ボタンまたは本体フロントパネルの「**チャンネル／音量**」ボタンを押すと 1 階層上に戻ります。「**メニュー**」ボタンを押すとチャンネル表示に戻ります。



主な仕様

受信範囲	JCSAT-2A その他	950MHz～2150MHz, 2MHz ステップ
入出力端子	アンテナ信号入力端子	高周波同軸 C15 レセプタクル （F 型コネクター）1 系統
	アンテナ信号出力端子	950～2150MHz　-6～+4dB
	音声入力端子	1 系統
	音声出力端子	1 系統
	音声出力レベル	2Vrms
	スピーカー接続端子定格出力	3.5W + 3.5W（インピーダンス 8Ω）
	バックアップ出力端子	DC5V0.5A
	光出力端子	角型 SPDIF
	FM アンテナ信号入力端子	周波数範囲 76～108MHz
	AM アンテナ信号入力端子	周波数範囲 531～1602kHz
	EXTOUT 端子	100mW（インピーダンス 32Ω）
総合	電源	DC12V
	最大電力	30W
	寸法	280㎜×150㎜×45㎜
	質量（AC アダプタ含む）	質量：1.0kg（ACアダプター含む）

注）本機の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れについて

お手入れの際は柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、から拭きしてください。

お願い

〇アルコールやシンナーは使わないでください。

〇化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表でお確かめください。
なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	ページ
電源が入らない	・ACアダプタがはずれていませんか。	・確実に挿入する。	ー
アンテナ設置時に受信できない	・コンバーター電源の設定はオンになっていますか。	・メニュー画面でコンバーター電源の設定を「ON」にする。	44
	・アンテナの向きはあっていますか。	・衛星の方向を確認し、信号レベルが最大となるようアンテナを調整する。	21
	・ミュージックバード音楽放送以外を受信していませんか。	・衛星の方向を確認し、スタンバイランプが点灯する位置にアンテナを調整する。	27
音が出ない	・接続はあっていますか。	・接続を確認する（アンプのスイッチ含む）。	18
	・ミュージックバード音楽放送以外を受信していませんか。	・衛星の方向を確認し、スタンバイランプが点灯する位置にアンテナを調整する。	27
	・アンテナコンバーターに電源を供給していますか。	・メニュー画面でコンバーター電源の設定を「常時オン」にする。	44
	・受信契約をしていますか。	・受信契約をする。	10
	・消音（ミュート）状態になっていませんか。	・消音（ミュート）を解除する。	34
	・音声が常時「オフ」の設定になっていませんか。	・常時「オフ」の設定を解除する。	36
	・外部入力状態になっていませんか。	・放送受信へ切り替える。	35
	・最大音量が正しく設定されていますか。	・最大音量設定を確認する。	42
	・番組情報更新はされていますか。	・番組情報更新をする。	46
リモコンが動作しない	・乾電池の＋－が逆に入っていませんか。	・＋－を正しく入れる。	18
	・乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池と入れ替える。	18
	・キーロック状態になっていませんか。	・キーロックを解除する。	37
	・リモコン設定が操作無効になっていませんか。	・フロントパネルボタン操作でリモコン設定をオンにする。	43
	・コードの設定が違いませんか。	・CODE1に設定してください。	43

エラーメッセージ一覧

アラームコード

	コード	内容	その後の対応は？
アラームメッセージ	A001	信号受信できません	悪天候の時は回復するまでお待ちください。そうでない時は、アンテナ入力端子の緩みがないか、外れていないか確認してください。
	A002	コンバーター電源がショートしました	次ページをご参照ください。
	A003	CA メッセージ	使用していません。
	A004	スマートカードを挿入してください	スマートカードを入れてください。
	A005	スマートカードを正しく挿入してください	スマートカードの向きを確認してください。
	A006	この番組の契約情報が確認できません	ご契約範囲外のチャンネルですので、番組表を確認の上、「契約されたチャンネル」を選択してください。
	A007	スマートカードが挿入されていません	スマートカードを認識していません。一旦電源を切り、スマートカードを抜き差しします。その後再び電源を入れこの表示が出ないことを確認してください。
	A008	スマートカードが認証されません	
	A009	スマートカードが期限切れです	次ページをご参照ください。
	A010	スマートカードがペアリングされていません(1)	スマートカードを認識していません。一旦電源を切り、スマートカードを抜き差しします。その後再び電源を入れこの表示が出ないことを確認してください。
	A011	スマートカードがペアリングされていません(2)	
	A012	スマートカードが停止中です。	
	A013	要注意指定されたスマートカードです	
	A014	スマートカードが無効です	
	A015	スマートカードの応答がありません	
	A016	スマートカード通信エラー	
	A017	ＣＡエラー(1)	
	A018	ＣＡエラー(2)	

エラーコード「A002」

F型コネクターの加工ミスなどにより、アンテナのコンバーター電源がショートすると「A002」と表示されます。

この場合はACプラグをコンセントから抜き、アンテナケーブルのF型コネクター加工部分を確認・修正してください（23ページ参照）。
終わりましたらアンテナケーブルを再度接続し、ACアダプタのプラグを差し込んでください。

エラーコード「A006」「A009」

アンテナ同軸ケーブルが外れていたり、電源コードが外れていて長期間受信をしていない場合は「A006」または「A009」と表示される場合があります（10ページ参照）。
ミュージックバードカスタマーセンターまでご連絡ください。

エラーコード

	コード	内容
エラー メッセージ	E001	フラッシュメモリーエラー
	E002	チューナーエラー

上記エラーコードが表示される場合は、ACアダプタを抜いて再度差し直してください。
それでも直らない場合は、ミュージックバードカスタマーセンターにご相談ください。

こんな表示の時は？

こんな表示のときは	このような操作を行ってください。	ページ
チャンネル表示にならない、「LEVEL」表示等。	番組情報更新が正常に完了していない可能性があります。番組情報更新をしてください。	46
「CH***」と「MUTE」が交互に表示している。	ミュート（消音）の状態になっています。ミュートを解除してください。リモコンの**「消音」**ボタンまたは本体から解除できます。	34
「VOL00」と「CH***」が交互に表示している。	音量が”0”になっています。音量を上げてください。	34
スタンバイランプが緑色に点滅している。	チャンネルオフの状態になっています。この機能を使用しない場合は解除してください。	36
「KEYLO」と表示している。	キーロックの状態になっています。キーロック機能を使用しない場合は解除してください。	37
スタンバイランプがオレンジ色に点灯している。	バックアップ機能が働いています。	39

保証とアフターサービス

保　証　書

型　名		CDT-3AFD
品　名		*SPACE DiVA* チューナー
受信機 ＩＤ番号		（ラベルを貼付してください）
スマート カード番号		（ラベルを貼付してください）
保証期間		★お買い上げ日 年　月　日 から **1 年間**
★お客様	ご住所	〒
	お名前	（ふりがな）
	TEL	市外局番 （　　）

★販売店

★印には必ず記入してあることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

株式会社ミュージックバード
〒102-0083　東京都千代田区麹町1-8
JFNセンター5階

● 取扱説明書、本体に印刷された注意事項に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

● 次の様な場合は保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
- 本書のご提示がない場合。
- 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合。
- 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧及び、その他の天災による故障、並びに損傷。
- ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、並びに損傷。
- お買い上げ後の落下、及び輸送上の故障、並びに損傷。

● 本書は、日本国内に限り有効です。

修理実施日	修理内容	担当者

※ 本書に明示した期間及び条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
　修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有償にて修理いたします。
　補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後５年間保有しております。
※ 修理を依頼されるときは、必ず本機の電源プラグを抜いておいてください。
　なお不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

愛情点検

★長年ご使用のチューナーの点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか?	●スイッチを入れても、動作しないときがある。 ●使用中に異常な雑音がする。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他、異常・故障がある。

ご使用中　止	このような症状のときは故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

販売店名　　☎　（　　）

お買い上げ日　　年　　月　　日

品　番　CDT-3AFD

メモ欄

番組、操作方法等に関するお問い合わせ先

ミュージックバードカスタマーセンター

☎03－3221－9000

株式会社　ミュージックバード

〒102-0083　東京都千代田区麹町1-8JFNセンター5階